

SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

AUGUST
2025

8

昭和医科大学新聞 通巻第626号
(偶数月発行)

保健医療学部到新学科・新専攻設置
第15回 学祖祭を挙行



Special Feature

新学科・新専攻設置

第15回学祖祭を挙

上條奨学賞、上條最優秀論文賞、上條優秀論文賞 昭和医科大学奨学・研究奨励基金研究者、昭和医科大学学業成績優秀賞の表彰

Press Release

世界遺産やんばらの森で新種「ヤンバルカラマツ」を発見 沖縄島北部の生物多様性成立の過程解明へ重要な一歩 くさ〜いニオイの「腐肉花」たちの進化の軌跡を解明 共同研究による論文がScience誌に掲載 アスレティックトレーニング分野での新たな人材育成へ向け 保健医療学研究科がトレーニングジムとの連携を開始 医薬品による有害事象から高齢者を守り、服薬アドヒアランスを向上させる取り組みを開始

News & Topics

優秀サークル表彰式・新規公認サークル認定通知式 大学院留学生ウェルカムパーティー 第61回載帽式 包括連携協定大学連絡協議会 ほか

Student Life

富士吉田自然教育園・横浜自然教育園の特徴と取り組み

Database

卒業生の進路状況 私立大学等経常費補助金交付状況 大学院入試要項 決算の概要 科学研究費助成事業交付内定

Meeting Report (学内会議報告)

Information

2027年4月、保健医療学部を拡充！ 真のチーム医療を実現する “医系総合大学”へ



診療放射線技術学専攻

本専攻では、X線・CT・MRIなどの画像検査や放射線治療に必要な専門知識と技術を体系的に学びます。1年次から4学部合同のチーム医療教育を実施し、他職種との連携力を養成。2つのキャンパスでの学びと8附属病院での臨床実習を通じて、患者中心の安全で正確な医療を提供できる診療放射線技師を育成します。



臨床工学専攻

本専攻では、人工心肺装置や人工透析装置などの生命維持管理装置を扱う臨床工学技士を育成します。医療機器の高度化・複雑化が進む中で、“いのち”を支える必要不可欠な存在となっています。3・4年次には8附属病院での臨床実習を通じて、現場での対応力と実践力を強化。即戦力となる医療人を目指せます。



歯科衛生学専攻

本専攻では、歯科予防処置・保健指導・診療補助を中心に、口腔から全身の健康を支える歯科衛生士を育成します。医系総合大学ならではの教育体制で、歯科だけでなく医科の知識も学修。1年次から多職種連携教育を導入し、附属病院での診療参加型実習では、急性期から回復期、精神科まで幅広い現場で実践力を養います。



言語聴覚療法学専攻

本専攻では、心理学・医学・言語学を基礎から体系的に学び、言語・聴覚・嚥下など多様な障害に対応できる専門知識と技術を身につけます。3・4年次には評価・総合実習を通じて臨床力を強化し、対人スキルを高める独自のカリキュラムにより、チーム医療に貢献し、即戦力となる言語聴覚士を育成します。



視覚機能療法学専攻

本専攻では、視覚検査・矯正訓練・視覚リハビリテーションなどを通じて、眼科医療のスペシャリストを目指します。1年次から多職種連携教育を取り入れ、4年間を通じて科学的根拠に基づく実践力を養成。8附属病院での臨床実習により、協働性と即戦力を兼ね備えた医療人を育成します。



新学科・新専攻ホスピタルツアー 附属病院 8/30 SAT 病院見学ツアーなど

4学部合同入試説明会 説明会(入試内容・カリキュラムなど)、個別相談 旗の台キャンパス 旗ヶ岡祭 10/11 SAT 詳細は特設サイトへ

保健医療学部入試説明会 説明会(入試内容・カリキュラムなど)、個別相談 横浜キャンパス 緑風祭 10/26 SUN

610名が出席し盛況を博する 学祖祭で55名の優秀者を表彰



1 幕前報告の様子 2 表彰 3 挨拶:上條由美学長 4 会場の様子
5 理事長講演の様子 6 ピアノ演奏:根本海美さん(薬学部第3学年)
7 演舞:応援指導部 8 演奏:メディカルオールスターズ(MAS)

昭和医科大学上條奨学賞

上條奨学賞は、学術上有益な研究課題に取り組み業績を挙げた職員、教育実践上の課題に取り組み功績を挙げた職員を対象として、表彰するもの。令和7年度は以下の職員が表彰された。

研究業績部門

研究科	課題	受賞者
医学研究科	HPV(ヒトパピローマウイルス)をターゲットにした子宮頸癌の予防	産婦人科学分野 准教授 小貫 麻美子
歯学研究科	マトリックス変性による時間依存性の顎骨変形挙動の解明	歯科理工学分野 講師 渡邊 知恵
薬学研究科	酸化ストレス防御因子としてのリン脂質分解酵素iPLA ₂ γの機能解析	衛生薬学分野 講師 依田 恵美子
保健医療学研究科	Relationship among muscle strength, muscle endurance, and skeletal muscle oxygenation dynamics during ramp incremental cycle exercise. (漸増負荷運動中の筋酸化動態と筋力および筋持久力の関連について)	リハビリテーション分野 講師 根本 慎司

教育功績部門

学部	課題	受賞者
医学部	OSCEの適正な実施体制の構築と学生の国際交流への貢献	泌尿器科学講座 教授 深貝 隆志
歯学部	本学歯科病院における歯科医師臨床研修の確立	歯科保存学講座 総合診療歯科学部門 教授 長谷川 篤司
薬学部	薬学基礎と薬物治療を融合した実践型演習の構築と実施	基礎医療薬学講座薬理学部門 准教授 柴田 佳太
保健医療学部	多専攻で共に学ぶリハビリテーション学科新カリキュラムの構築	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授 仲保 徹
富士吉田教育部	学部連携科目および選択科目の教育課程構築	教授 齋藤 範

昭和医科大学上條最優秀論文賞

最優秀論文賞は、本学研究者が筆頭著者として出版した論文(オンライン出版を含む)のうち、最も優秀な論文を発表した職員を対象として表彰するもの。令和7年度は以下の職員が表彰された。

所属・役職	論文名および掲載誌
先端がん治療研究所 准教授 酒井 瞳	論文名/ A randomized, double-blind, placebo-controlled phase II study of olanzapine-based prophylactic antiemetic therapy for delayed and persistent nausea and vomiting in patients with HER2-positive or HER2-low breast cancer treated with trastuzumab deruxtecan: ERICA study (WJOG14320B) 掲載誌/ <i>Ann Oncol.</i> 2025 Jan; 36 (1): 31-42

昭和医科大学上條優秀論文賞

優秀論文賞は、本学研究者が筆頭著者として出版した論文(オンライン出版を含む)のうち、優れた論文を発表した職員を対象として表彰するもの。令和7年度は以下の職員が表彰された。

所属・役職	論文名および掲載誌
歯学研究科 口腔病理学分野 准教授 田中 準一	論文名/ Generation of salivary glands derived from pluripotent stem cells via conditional blastocyst complementation 掲載誌/ <i>Cell Rep.</i> 2024 Jun 25; 43 (6): 114340.
発達障害医療研究所 講師 板橋 貴史	論文名/ Generalizable and transportable resting-state neural signatures characterized by functional networks, neurotransmitters, and clinical symptoms in autism 掲載誌/ <i>Mol Psychiatry.</i> 2024 Sep 28 Online ahead of print
医学研究科 臨床病理診断学分野 助教 小原 淳	論文名/ Automated Neutrophil Quantification and Histological Score Estimation in Ulcerative Colitis 掲載誌/ <i>Clin Gastroenterol Hepatol.</i> 2024 Jul 25; S1542-3565 (24)00668-2.

昭和医科大学奨学・研究奨励基金研究者

昭和医科大学奨学・研究奨励基金研究者は、本学の学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成するため、優れた学術研究を行った職員および本学大学院生を対象として表彰するもの。令和7年度は以下の方々が表彰された。

学術研究諸活動

	所属	職名	氏名
医学研究科	整形外科学分野	講師	西 正智
医学研究科	整形外科学分野	助教	豊田 仁志
医学研究科	消化器内科学分野	助教	奥村 大志
医学研究科	血液内科学分野	助教	佐々木 陽平
医学研究科	医科薬理学分野	助教	船山 英治
医学研究科	小児内科学分野	助教	山口 将基
医学研究科	小児内科学分野	助教	浅山 真史
医学研究科	整形外科学分野	助教	土谷 弘樹
医学研究科	消化器一般外科学分野	助教(医科)	井関 貞仁
医学研究科	小児内科学分野	助教(医科)	直江 千佳子
歯学研究科	歯科矯正学分野	助教	高風 桃子
歯学研究科	保存修復学分野	助教	長谷川 正剛
歯学研究科	歯科補綴学分野	助教	興石 悠介
歯学研究科	インプラント歯科学分野	助教	阿部 誉
歯学研究科	インプラント歯科学分野	助教	矢木 鴻太郎
歯学研究科	インプラント歯科学分野	助教	酒井 隆太郎
歯学研究科	インプラント歯科学分野	助教	山下 晃平
歯学研究科	インプラント歯科学分野	助教(歯科)	水見 開哉
薬学研究科	天然医薬治療学分野	助教	伊藤 ほか
薬学研究科	臨床栄養代謝学分野	助教	岡本 まとか

海外留学諸活動

	所属	職名	氏名
薬学研究科	臨床病態学分野	助教	前田 耕平
薬学研究科	衛生薬学分野	助教	落合 翔

昭和医科大学学業成績優秀賞

学業成績優秀賞は、本学各学部の学生および昭和医科大学附属看護専門学校の学生のうち、成績優秀者を表彰するもの。令和7年度は以下の学生が表彰された。

	学部	年次	氏名
		2年	大野 淳成
		3年	杉本 寛児
		4年	近藤 綾
		5年	和田 恵都
		6年	北谷 香葉子
医学部		2年	古山 満帆
		3年	金子 大輝
		4年	坂本 善規
		5年	長谷 瞳
		6年	坂井 聖乃
		2年	船木 咲希
		3年	森田 奈乃葉
		4年	古屋 有彩紀
		5年	高塩 理名
		6年	中道 万結
保健医療学部	看護学科	2年	熊澤 葵
	リハビリテーション学科理学療法学専攻	3年	西垣 友衣
	理学療法学科	4年	石川 結唯
看護専門学校		2年	高橋 遥奈
		3年	淵脇 葵



医学研究科
産婦人科学分野
准教授 小貫 麻美子

HPV (ヒトパピローマウイルス) をターゲットにした子宮頸癌の予防

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導いただきました松本光司教授、関沢明彦教授、研究に関与いただいた諸先生に心より御礼申し上げます。

子宮頸がんは生殖年齢にある女性では乳がんに次いで多いがんです。私は婦人科腫瘍専門医として診療を続けつつHPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンの有効性評価・ウイルスゲノム解析など、臨床と

基礎医学の両面から我が国の子宮頸がん予防戦略を考える上で必要不可欠なエビデンスを発信してきました。子宮頸がんはワクチンと検診で予防できるがんです。この受賞を励みに今後も診療／研究を続け、子宮頸がん患者を一人でも減らすことができるよう貢献していきたいと考えています。

マトリックス変性による時間依存性の顎骨変形挙動の解明

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導頂きました柴田陽教授をはじめ、本研究の遂行にご尽力頂きましたシドニー大学のJingxiao Zhong先生、九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野の先生方、および歯科理工学講座の皆様へ心より御礼申し上げます。

顎骨の靱性(壊れにくさ)は歯科臨床、特にインプラントを含めた補綴治療の予後を左右するものです。本

研究は疾病モデル動物を対象に、顎骨内コラーゲン変性による時間依存性の変形挙動を工学的な手法を用いて明らかにしました。

今後も歯科医療の発展に貢献できるよう微力ながら尽くして参りますので、引き続きご指導何卒よろしくお願い申し上げます。



歯学研究科
歯科理工学分野
講師 渡邊 知恵

酸化ストレス防御因子としてのリン脂質分解酵素iPLA₂γの機能解析

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄であるとともに厚く御礼申し上げます。今回の受賞に際し、ご指導頂きました原俊太郎薬学部長をはじめ、衛生薬学部門の皆様及び共同研究に関わる多くの先生方に心より感謝申し上げます。

膀胱がんの化学療法に使用されるシスプラチンは薬剤抵抗性や腎障害などの問題点があるほか、その抗腫瘍作用のメカニズムには未解明な部分が残され

ています。本研究は、シスプラチンによる膀胱がん細胞死に対して膜リン脂質代謝酵素であるiPLA₂γが防御的に働くことを明らかとしたもので、本酵素の阻害がシスプラチンを使用した化学療法における問題点の解決につながるものと考えております。

今後も医療の発展に貢献できるよう努力を続けて参りますので、引き続きご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



薬学研究科
衛生薬学分野
講師 依田 恵美子

漸増負荷運動中の筋酸化動態と筋力および筋持久力の関連について

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。本研究の遂行にご尽力いただきました共同研究者の先生方には、心より御礼申し上げます。

全身持久力の指標である最高酸素摂取量は、生命予後や快適な日常生活活動の強力な規定因子であるため、リハビリテーションにおける重要な治療標的の一つとされています。最高酸素摂取量は活動筋における筋酸化動態に強く規定されることが知られてい

ますが、この筋酸化動態を効果的に向上させるための方略は未だ明らかにされておられません。本研究では、良好な筋酸化動態を保つためには、筋力と筋持久力の両者を高く保つことが必要であることを示唆しています。今後は、本研究成果を高齢者や心疾患患者に応用していき、人々の健康寿命の延伸に貢献できるよう、努力を続けてまいります。



保健医療学研究科
リハビリテーション分野
講師 根本 慎司

OSCEの適正な実施体制の構築と学生の国際交流への貢献

この度は、栄えある上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。小口勝司理事長、上條由美学長をはじめ、ご指導を賜ったすべての皆様に心より御礼申し上げます。1990年代後半のハワイ大学留学で国際交流と英語力の重要性を実感し、学部間協定の締結や学生の臨床実習支援に取り組んでまいりました。また、それを契機に診療の傍ら医学教育にも深く関わるようにな

り、現在は小風暁医学部長ならびに医学教育推進室の先生方のご指導の下、2023年より公的試験化されたOSCEの運営体制整備にも、実施委員長として携わっております。本受賞を励みに、今後も医療人育成に尽力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

本学歯科病院における歯科医師臨床研修の確立

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。

卒直後は卒前臨床教育と卒後専門医教育をシームレスにつなぐ重要な時期であることから、本学研修カリキュラムでは専門診療科での長期研修も選択可能とするなど研修医の学習意欲の継続的な鼓舞に努めてまいりました。

本学歯科病院の歯科医師臨床研修を正式実施した

平成18年度から、歴代の歯学部長、歯科病院長、臨床系教授および研修指導医の先生方に加えて歯科病院事務長、研修担当事務員の皆様方に多大なお力添えをいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

引き続き、本学の臨床教育の発展に寄与してまいり所存ですので、今後ともご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

薬学基礎と薬物治療を融合した実践型演習の構築と実施

大変名誉ある上條奨学賞を賜り、誠に光栄に存じます。本演習の構築と実施に際し、ご指導いただきました沼澤聡教授をはじめ、中村明弘前薬学部長、原俊太郎前教育委員長(現薬学部長)、野部浩司教授、そして共にご尽力くださった諸先生方に心より御礼申し上げます。薬学基礎科目と臨床との繋がりをイメージしにくいという学生の声に着目し、薬学基礎と薬物治療を融合させた実践型演習の構築と実施に取り組み、

学生の学修意欲向上と教育体制の強化に努めてまいりました。改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムでも学修領域間の繋がりが重視されており、本演習は全国に先駆けた特色あるカリキュラムとなっております。

今後とも諸先生方と連携し、日本一の薬学教育の実現を通じて、社会に貢献する優れた医療人の育成に尽力してまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

多専攻で共に学ぶリハビリテーション学科新カリキュラムの構築

この度は名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。身に余る評価をいただき、身の引き締まる思いです。また、今回の受賞は保健医療学部のリハビリテーション学科カリキュラム作成に携わる全ての先生方のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

リハビリテーション学科としてのカリキュラムは、現在3年目を迎えたカリキュラムは完成年度に向けて評

価と改善点の検討を行っております。同時に新専攻開設に向けた、統合的なカリキュラムの構築を進めております。今後は学科内での、より一体感のある教育体制の構築、そしてカリキュラムにおける多専攻の融合を図るために尽力して参ります。

引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学部連携科目および選択科目の教育課程構築

このたびは名誉ある上條奨学賞を賜り、大変光栄に存じます。ご指導を賜りました倉田知光前富士吉田教育部長、小倉浩教育委員長をはじめ、ご協力いただいたすべての先生方と富士吉田校舎事務課の皆様方に心より御礼を申し上げます。

幅広い教養の涵養と高い倫理観の醸成を目指し、優れた医療人と成るべきその「人」の何であるかを学

生が自ら追い求めるべく、その契機としての教養教育の構築を進めて参りました。

初年次のこととはいえ各学部の皆様のご理解なくしては実現できず、このたび各学部の多くの先生方にも多大なるご尽力を賜りました。あらためて深く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



医学部
泌尿器科学講座
教授 深貝 隆志



歯学部
歯科保存学講座
総合診療歯科学部門
教授 長谷川 篤司



薬学部
基礎医療薬学講座
薬理学部門
准教授 柴田 佳太



保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法専攻
教授 仲保 徹



富士吉田教育部
教授 齋藤 範



Press Release

昭和医科大学では最新の研究成果を外部（マスメディア）に発信しています。
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介します。

※掲載内容はリリース時の内容となります。

世界遺産やんばるの森で新種「ヤンバルカラマツ」を発見 沖縄島北部の生物多様性成立の過程解明へ重要な一歩



昭 和医科大学（東京都品川区／学長：久光正）の柿嶋聡講師（富士山麓自然・生物研究所）、東北大学の大学院生 道本佳苗さん（生命科学研究所）、牧雅之教授、伊東拓朗助教（東北大学学術資源研究公開センター・植物園）らによる共同研究チームは、琉球大学、沖縄美ら島財団総合研究所、人間環境大学、九州大学、国立台湾大学の研究者らと共同で、キンボウゲ科植物のアキカラマツとされていた沖縄島の植物を、沖縄島北部（やんばる地域）に固有の新種であることを明らかにし、和名「ヤンバルカラマツ」（学名：*Thalictrum yambaruense*）と命名した。

■研究の背景

キンボウゲ科カラマツソウ属は、主に北半球の温帯地域に分布する多年草で、世界では約120～200種が知られている。この仲間は、同種でも個体によって形態変異に富んでいるため、種の区別や分類が非常に難しいとされている。なかでも、ユーラシア大陸全域に広く分布し、日本では北海道から本州、四国、九州に分布しているアキカラマツは分類が難しい種として知られている。

沖縄島北部の「アキカラマツ」は、1997年に琉球大学理学部（当時）の横田昌嗣名誉教授によって初めて沖縄生物学会誌に報告された。一般にアキカラマツは、海岸から高山帯にかけての明るい林縁部に生育するが、不思議なことに沖縄島のアキカラマツは、水が滴る滝の壁面という全く異なる環境に生育していた（図1）。さらに、沖縄島の個体はその他の地域のアキカラマツと比べて植物体が非常に小さいことも特徴的だった。沖縄島には他にカラマツソウ属植物は分布しておらず、基本的に温帯地域に分布するカラマツソウ属植物が亜熱帯地域である沖縄島から報告された事自体が奇妙なことだった。



（図1）ヤンバルカラマツの自生地

以上のことから、東北大学の道本は沖縄島のアキカラマツは他地域のものとは異なる分類群である可能性が高いと判断し、2022年に発見者である横田や沖縄美ら島財団の阿部らと共に、その実体を明らかにするための現地調査を実施した。

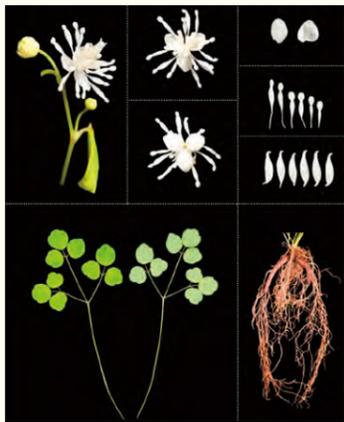
■研究の成果

本研究では、沖縄島産のアキカラマツとその他の地域のアキカラマツ、さらに日本および台湾に分布するカラマツソウ属植物を網羅的に収集し、これらについて、標本および生植物を用いた形態比較とDNA解析を行った。

形態比較の結果、沖縄島産のアキカラマツは、根が肥厚することや花糸^{※1}が幅広いことなどの特徴から、他地域のアキカラマツとは明確に異なる種であることが判明した（図2）。また、DNA解析の結果からも、沖縄島産のアキカラマツは他の地域のアキカラマツとは系統的に離れた別の種であることが確認され、むしろ、類似した環境に生育する台湾固有のタカサゴカラマツともっとも近縁な種であることがわかった。しかしながら、沖縄島産のアキカラマツは、雌しべの先端が少し湾曲することや、小花柄^{※2}が短いといった点でタカサゴカラマツとも異なる形態をもち、遺伝的にも分化していた（図2、3）。

以上の結果から、これまでアキカラマツとされていた沖縄島の植物は、学名のついていない未記載の植物であることが明らかとなったため、発見地である沖縄島北部のやんばる地域にちなんで、「ヤンバルカラマツ」（学名：*Thalictrum yambaruense*）と命名した。

■今後の展開
ヤンバルカラマツの発見は、2021年に世界自然遺産に指定された「やんばる」の学術的な価値をより一層高めるものである。また、



（図2）ヤンバルカラマツの花、葉および根の詳細な形態



（図3）台湾固有のタカサゴカラマツの自生地および花、葉の詳細な形態

た、亜熱帯に区分される沖縄島において、一般に冷涼な温帯地域に多く生育することが知られているカラマツソウ属のヤンバルカラマツが見出されたことは、やんばる地域の高い生物多様性が成立した過程を解明する上で重要な発見である。

一方で、ヤンバルカラマツの自生地は、やんばるの1地点のみしか知られておらず、野生個体数は推定50個体以下と極めて少ないため、近い将来に野生で絶滅する危険性が極めて高い状況である。さらに、本種の自生地は滝の壁面という極めて限定的な環境であり、今後の環境変化によって消失するリスクが高い状況にある。したがって、今後は本種の自生地を厳重に保護していくことに加え、生育環境の変化に備えた生息域外保全を積極的に進めていく必要があると考えられる。

リリース時タイトル／沖縄島北部の世界自然遺産地域から新種の植物を発見「ヤンバルカラマツ」と命名

くさ〜いニオイの「腐肉花」たちの進化の軌跡を解明 共同研究による論文がScience誌に掲載



昭 和医科大学（東京都品川区／学長：久光正）の柿嶋聡講師（富士山麓自然・生物研究所）、国立科学博物館の奥山雄大研究主幹らによる共同研究チームは、国立遺伝学研究所、長野県環境保全研究所、宮崎大学、東北大学、情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター、龍谷大学、慶應義塾大学の研究者らと共同で、腐った肉のような臭いニオイで昆虫をだまして花粉を運ばせる（腐肉擬態）花が、臭いニオイの成分「ジメチルジスルフィド^{※1}」を生み出すメカニズムを解明し、またその機能を獲得する進化がわずかなアミノ酸置換でもたらされることを実験的に示すことに成功した。さらに、そのメカニズムを担う酵素がカンアオイ属^{※2}、ヒサカキ属^{※3}、ザゼンソウ属^{※4}という全く異なる植物で独立に進化、獲得されていることを発見した。これは、花による腐肉擬態というユニークな現象が、どのような成り立ちで進化しうるのがを明快に説明できた類い稀な成果と言える。本研究成果は、2025年5月8日刊行の「Science」誌に掲載された。

■研究のポイント

- カンアオイ属を対象に、花の臭いニオイ成分「ジメチルジスルフィド」を含む種と含まない種の間で比較研究を行い、臭いニオイの生合成に関与する複数の遺伝子を特定。
- 特定した遺伝子の一つがジメチルジスルフィドを生合成する新発見の酵素の遺伝子であることを解明し、これをジスルフィドシンターゼ（DSS）と命名。
- DSSの機能は陸上植物が共通して保有する祖先的な酵素メタンチオールオキシダーゼからわずかなアミノ酸配列の変化で獲得されることを解明。
- DSSはカンアオイ属だけでなく、全く異なる植物のグループであるヒサカキ属、ザゼンソウ属でも独立に進化し、全く同じ

用語解説／

- ※1 花糸：雄しべの糸状の部分。
- ※2 小花柄：花と茎を繋ぐ短い枝の部分。

掲載誌／Phytotaxa

論文名／New Species of *Thalictrum* (*Ranunculaceae*) from Okinawa Island in Japan and Its Phylogenetic Implications

著者／Kanae Michimoto, Masatsugu Yokota, Atsushi Abe, Shinji Fujii, Daiki Takahashi, Satoshi Kakishima, Chih Chieh Yu, Takuro Ito, Masayuki Maki

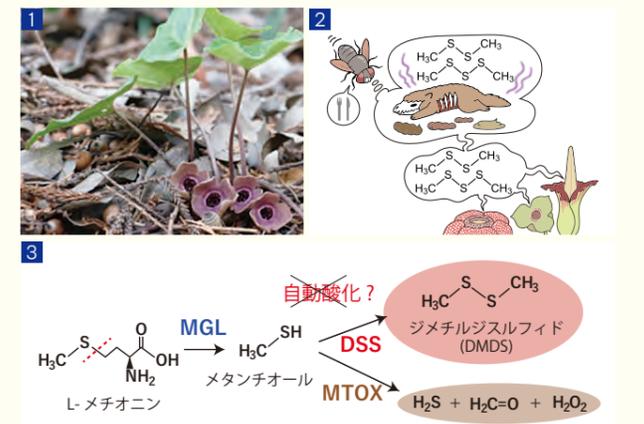
掲載日／2025年3月28日

DOI／10.11646/phytotaxa.696.1.3

URL／<https://phytotaxa.mapress.com/pt/article/view/phytotaxa.696.1.3>

本研究は、JSPS科研費 JP23K23631およびJP24KJ0399の助成を受けたものです。

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 富士山麓自然・生物研究所 講師 柿嶋聡 TEL：0555-24-1186 E-mail：kakishima@cas.showa-u.ac.jp



1 ランノウアオイ（カンアオイ属の1種） 2 腐肉擬態花の模式図。腐肉擬態花は、腐った肉や肉食動物の糞から出ると同じジメチルジスルフィド、ジメチルトリスルフィドといった臭い成分を放ち、花粉を運ぶハエなどの昆虫を誘き寄せる。3 本研究で明らかにした「臭い花」の臭い成分「ジメチルジスルフィド（DMDS）」の生合成経路。これまで、DMDSはメタンチオールが酵素反応を経ずに酸化して生じると考えられていたが、この反応を担う酵素ジスルフィドシンターゼ（DSS）を発見した。MGL：メチオニンガンマリナーゼ。MTOX：メタンチオールオキシダーゼ。

ロセスを経て同じ機能を持つ酵素を獲得（収斂進化）したことを発見。
5. 植物園が戦略的に収集して維持しているリビングコレクション（生植物）が、未知の生命現象を解き明かすために決定的に重要な役割を果たしうること示した。

用語解説／

※1 ジメチルジスルフィド（DMDS）：腐った肉や肉食動物の糞などの臭いにおいの主成分の一つで、硫黄を含む分子。バクテリアが動物性タンパク質を分解する際に多く発生する。一般的にはヒトの鼻には悪臭として捉えられるが、チーズや食肉にもわずかに含まれており、微量であれば逆に食欲を刺激することが知られている。ハエが強く誘引されるにおい物質でもあり、ハエに受粉されるショクダイオオコンニャクやラフレシアなどの花からも多く放たれる。

- ※2 カンアオイ属：カンアオイ属はウマノスズクサ科の植物の一群で、葉の下で、地面すれすれに花を咲かせるのが特徴。この花はまるで世界最大の花として知られるラフレシアのミニチュアのように、実際にラフレシアの花と同じように臭いにおいを放つものがある。カンアオイの名前は「寒葵」に由来し、これは徳川家の家紋のモチーフとなっている葵(フタバアオイ)に近縁で、冬でも葉が残る常緑性であることにちなむ。
- ※3 ヒサカキ属：ヒサカキ属はモッコク科の植物の一群で、その一種ヒサカキは本州以西にごく普通に自生する低木。生垣によく用いられるほか、特に東日本では神事に用いる櫛の代用としても用いられる。早春に開花し、この時期にはあたり一面にたくわん漬けのような強い香りを漂わせる。
- ※4 ザゼンソウ属：ザゼンソウ属は、サトイモ科の多年草の一群で、北東アジアから北米に広く分布する。その一種ザゼンソウは雪深い地域の湿地に自生し、早春、雪解けとともに開花する。花は熱を発生し、臭いにおいでハエの仲間を誘う。その名は開花した株の姿が座禅を組む僧侶に似ること由来している。

リリース時タイトル／あえて「臭く」進化した花たちのニオイを生み出す仕組みを解明 一虫を呼ぶために複数の植物で収斂進化していた！

掲載誌／Science

論文名／Convergent acquisition of disulfide-forming enzymes in malodorous flowers

著者／Okuyama, Y., Fukushima, K., Kakishima, S., Valchanova, A. K., Takano, K. T., Ito-Inaba, Y., Nakazato, T., Nagano, A. J.

掲載日／2025年5月8日

DOI／10.1126/science.adu8988

本研究の一部は、科研費 (JP19H03292, JP20H02917)、科学技術振興機構 (JST) 戦略的創造研究推進事業 さきがけ (JPMJPR21D3) の助成の支援のもとで行われた。

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 富士山麓自然・生物研究所 講師 柿嶋 聡 E-mail: kakishima@cas.showa-u.ac.jp

アスレティックトレーニング分野での新たな人材育成へ向け 保健医療学研究科がトレーニングジムとの連携を開始



昭和医科大学(東京都品川区/学長:上條由美)は、大学院保健医療学研究科 博士前期(修士)課程 アスレティックトレーニング分野において、2025年4月より実践力を備えたアスレティックトレーナーの育成を目的として、スポーツ医科学ジム「OneSelf」(合同会社OneSelf、本社:東京都三鷹市、代表:佐藤祐輔)との連携を開始した。学生はOneSelfが提供する多様なメニューを通じて、科学的根拠に基づくトレーニング指導やカウンセリング、傷害予防、パフォーマンス向上支援など、現場で求められる幅広い実践力を体系的に学ぶことが可能となる。

■連携の目的と意義

本連携は、実践力を備えたアスレティックトレーナーの育成を目的としており、学生がスポーツ医科学の現場で、より実践的かつ高度なスキルを習得できる環境を提供するためのものである。OneSelfは、理学療法士や日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)など、専門資格を有するスタッフが在籍する施設であり、個々の利用者に応じたメニューを提供している。今回の連携により、学生は科学的根拠に基づくトレーニング指導やカウンセリング、外傷・障害予防、パフォーマンス向上支援など、現場で求められる幅広い実践力を体系的に学ぶことが可能となる。これにより、即戦力として社会に貢献できる人材育成を一層推進していく。



アスレティックトレーニング分野1年の実習の様子

■OneSelfでの実習内容

学生は、OneSelfが提供する多様なメニューを通じて、実際のクライアント対応やトレーニング指導などを体験する。また、企業や地域団体との連携事例に触れることで、地域医療・健康増進に貢献する視点も養う。学内での知識習得に加え、現場経験を重ね

ることで、理論と実践を結びつけた応用力を高めることが期待される。

■今後の展望

昭和医科大学大学院保健医療学研究科アスレティックトレーニング分野では、引き続き実践的教育の強化を図り、産学連携を通じた教育プログラム の充実に取り組んでいく。今回のOneSelfとの連携を一つのモデルケースとし、学生の成長機会を広げるとともに、スポーツ医科学分野における新たな人材育成の形を模索していく。

今後も、社会のニーズに応える専門職業人を育成し、健康・医療・スポーツの発展に寄与していく。

※OneSelfに関する詳細は以下をご参照ください。

合同会社OneSelf: <https://www.one-self.net/>



左から、OneSelf佐藤祐輔代表、アスレティックトレーニング分野 三宅英司准教授

リリース時タイトル／昭和医科大学がスポーツ医科学ジム「OneSelf」と連携—アスレティックトレーナー実習の充実を図る—

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学大学院 保健医療学研究科 アスレティックトレーニング分野 TEL: 045-985-6503 E-mail: nrkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp

医薬品による有害事象から高齢者を守り、服薬アドヒアランスを向上させる取り組みを開始



学

校法人昭和医科大学(東京都品川区、理事長:小口勝司)と株式会社ユカリア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:三沢英生)は、2024年11月より、ユカリアのグループ企業である株式会社クラーチ(本社:東京都千代田区、代表取締役:鮫島智啓)が保有する高齢者施設における医薬品の適正使用を目指した個別・集団指導とその有用性に関する共同研究契約を締結し、フィールドワーク型研究を開始した。本研究ではクラーチ関連施設において、昭和医科大学統括薬剤部の薬剤師が個別、集団指導を行い、高齢者施設内における医薬品使用の実態を明らかにするとともに、利用者様の薬識向上、医薬品の適正使用のための利用者およびスタッフへのアドバイスなどを行い、高齢者施設における薬剤師の活動の有用性に関する知見を創出することを目指している。なお本研究は、公益財団法人杉浦記念財団「第14回杉浦地域医療振興助成」の助成を受けて実施する。

■研究の背景

本共同研究は、株式会社ユカリアのグループ企業である株式会社クラーチが保有する高齢者施設において、これまで昭和医科大学統括薬剤部が昭和医科大学で実践してきた「おくすり減らすゾウ教室」を出張して実施するものである。高齢者施設内においては、必ずしも医療者が十分に活動できていないという状況がある。そのような中で、医薬品の適正使用に関する啓蒙・啓発活動を行い、医薬品による有害事象から高齢者を守ることを目指している。

■研究の内容と役割

本共同研究では、昭和医科大学の百賢二准教授(統括薬剤部/薬学部病院薬剤学講座臨床研究部門)を中心とした各種領域の専門薬剤師によるチームで、株式会社クラーチの高齢者施設における利用者の薬識向上・医薬品の適正使用を目指し、個別・集団指導を行う。

■昭和医科大学病院における地域の高齢者向け 医薬品適正使用のための講演会の活動実績

これまで昭和医科大学統括薬剤部では、昭和医科大学病院において、地域の皆さまを対象とした、医薬品の適正使用のための活動として「おくすり減らすゾウ教室」を約6年にわたり行ってきた。本活動では、地域の住民から受けた薬に関する相談、減薬の希望などに対するアドバイスを行うことや、地域住民向けのポリファーマシーに関する集団指導を行っており、多くの地域住民の方々の医薬品適正使用に貢献してきた。



高齢者施設において、昭和医科大学の臨床薬剤師が高齢者からのくすりの相談を受けている

■ポリファーマシーと高齢者

ポリファーマシーとは、「単に服用する薬剤数が多いことではなく、それに関連して薬物有害事象のリスク増加、服薬過誤、服薬アドヒアランス^(※)低下等の問題につながる状態」と定義されている。高齢になればなるほど慢性疾患等が増えるため、服薬するくすりの数が増える。同じような作用のくすりを複数服薬する高齢者もいますが、これらを整理し、最適化することが必要とされている。

リリース時タイトル／昭和医科大学と株式会社ユカリアが高齢者施設における医薬品の適正使用を目指した個別・集団指導を開始

用語解説／

※ 患者さんが医療従事者と共に、積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って処方どおりに服薬すること。

関連記事／昭和大学と株式会社ユカリアが電子カルテ由来の「ユカリアデータレイク」を活用した共同研究を開始—「もっと患者に優しい薬」を届けるために既存の医薬品の課題発掘を目指す

<https://www.u-presscenter.jp/article/post-54095.html>

本件に関する問い合わせ先／昭和医科大学 統括薬剤部/薬学部病院薬剤学講座臨床研究部門 准教授 百賢二 TEL: 03-3784-8845 E-mail: k.momo@pharm.showa-u.ac.jp



全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社(本社:東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場)は、全国47都道府県で700以上の調剤薬局を展開している企業です。

2025.4.22

式典・行事 サークル

昨年度の優秀サークルを表彰 本年度は新たに12のサークルを公式認定

4月22日、令和6年度優秀サークル表彰式および令和7年度新規公認サークル認定通知授与式を上條記念館 富士桜にて開催した。優秀サークルとして4サークルが表彰され、小口勝司理事長から表彰状と目録が贈呈された。また、新規公認12サークルに認定通知が授与された。

そして、各サークルの代表者多数が参加し懇親会が行われ、新規公認サークルの代表者から設立の趣旨や今後の活動に対する意気込みについて発表があった。続いて、令和6年度優秀サークルの各代表者より、昨年度の活動、さらに今後の活動計画について報告があった。最後に昭和医科大学宣言を参加者全員で唱和し、閉式となった。

昭和医科大学職員公認サークルは、種々様々な学内交流を通じて、職員同士が職種を越えて親睦を深めることを目的に、平成23年度に設けられた。現在は76サークルが認定され、活動している。

サークル名	昭和医科大学フィットネスクラブ	
所属人数	43名(男24名・女19名)	
活動日	定まっていないが、金曜日に7号館のトレーニング室利用が多い。ZOOMトレーニングは毎週日曜日19時から30分位(自重トレーニング)	日本社会人ボディビル・フィットネス大会参加者(倉田先生、蜂須)と応援団集合写真
代表者名	蜂須 貢	
問い合わせ先	薬物治療学部門 蜂須 貢 mhachisu@pharm.showa-u.ac.jp 080-5389-4201	
紹介文	昭和医科大学フィットネスクラブは運動を通して職員的美と健康、医療費削減に貢献することを目的としています。7号館(50周年記念館)体育館にトレーニング室があり、最低限のトレーニングマシンとフリーウエイトトレーニング器具があります。内容としてはゴールドジムに引けを取らないものと自負しております。これも2021年当時、学生課の村田課長のご努力で新しい器具を揃えて頂きました。今では職員以上に大勢の学生が訪れてトレーニングしています。また、毎週日曜日19時から30分程度Onlineで自重トレーニングをしています。興味のある方は上記のアドレスまでメール下さい。自身の能力範囲で強弱をつけてトレーニングすることが出来ます。	

サークル名	江東ガーデニングサークル	
所属人数	27名(男16名・女11名)	
活動日	不定期	
代表者名	泉崎 雄介	江東豊洲病院のはっさくの様子
問い合わせ先	y.izumizaki@ofc.showa-u.ac.jp	
紹介文	当サークルは江東豊洲病院の庭園を中心に活動しているガーデニングサークルになります。江東豊洲病院の庭園には、ハッサクやグレープフルーツ、ポンカン、カリンといった果物の木や、芝生の広場、屋上庭園などがあり、緑豊かな病院となっています。果物の木が毎年、実をつけるように肥料を与え、11月～1月頃に収穫を行っています。どの果物も想像以上に甘くおいしく、果物が好きな方におすすめのサークルです。ガーデニングに興味がある方、果物が好きな方はお気軽にお声掛けください。	



1 会場の様子
2 新規公認サークルへ認定通知授与
3 優秀サークル活動報告

令和6年度 優秀サークル

サークル名	活動内容
昭和医科大学フィットネスクラブ	フィットネス
江東ガーデニングサークル	ガーデニング
つくりてさん達の会	手芸
演劇サークル劇団丸八プラス	演劇

令和7年度 新規公認サークル

サークル名	活動内容
珈琲愛好会	グルメ(コーヒー)
アルメリアの会	イベント開催
趣味の園芸クラブ	園芸
ランクラ(ランニング&クライミング)	ランニング・登山
ドラムカーズ	草野球
オカリナ音楽隊	オカリナ演奏
昭和医科大学ブラインドマラソンサークル	視覚障害者のマラソン
宇宙サークル	宇宙に関する活動
Beauty & Healthy farmers	無農薬野菜栽培
モフモフなマフを通して手芸を楽しむ会	手芸(ケアマフ)
サイクリング同好会	サイクリング
異世界グレンデ〜転生したら最強の滑走者(ライダー)になっていた件〜	スキー・スノーボード

サークル名 つくりてさん達の会

所属人数	21名(男4名・女17名)	
活動日	個々の制作活動。不定期開催の創作会とミーティング	リース作りの様子
代表者名	刑部 慶太郎	
問い合わせ先	kayanuma@cas.showa-u.ac.jp (主務担当者)	

紹介文 「つくる」ことを大切にしているサークルです。手芸・工作など、実際にものづくりを行うことが基本ですが、メンバー同士の交流の場を「つくる」こと、つくることの楽しさを共有して有意義な時間を「つくる」ことも大切にしています。毎年、必ずドライフラワーのリース作りを行っていて、楽しみにしているものづくりの1つになっています。材料は身近な植物を使うようにして、植物採集も楽しみの1つです。これからもみんなで楽しく活動していきたいと思います。

サークル名 演劇サークル劇団丸八プラス

所属人数	32名(男17名・女15名)	
活動日	毎月 土曜日(第4土曜予定)、公演活動が近い場合 適宜	2025年3月公演の様子
代表者名	藤澤 邦見	
問い合わせ先	miki@dent.showa-u.ac.jp (桑澤 実希)	

紹介文 本サークルは、芝居を観たり打ったり語ったりする者の集まりです。演出・役者だけでなく、照明・音響・衣装・小道具・チラシデザイン・制作などの裏方スタッフの仕事まで含めて、芝居を製作する側の全体を楽しみますが、最終的には、公演を行うことを目標に活動しています。月に1本の観劇と講評、役者の基礎トレーニング、照明や舞台衣装作成の研究、音響の収集などの公演準備が主な活動内容になります。芝居は多職種が集まり協力する必要があるため、各人の特技特徴を生かして、一つのチームで創造する喜びを共有できます。

2025.3.28/4.25

連携・貢献

包括協定連携大学連絡協議会および 連携病院・協定病院連絡協議会を開催

3月28日に学校法人昭和大学包括協定連携大学連絡協議会を、4月25日に昭和医科大学連携病院・協定病院連絡協議会をそれぞれ開催した。

学校法人昭和大学包括協定連携大学連絡協議会では、各大学と本学の連携内容における報告と、今年度は「他大学との連携活動」という協議テーマを設け、各協定大学から連携活動の状況と周年事業の取り組みについて、報告があった。

また、本学からは、2024年4月に本学と多摩美術大学との連携活動により設立されたメディカルデザイン研究所の安次富所長より、研究所の設立と活動状況について報告がなされた。

1 安次富所長による報告
2 事例発表：田中克巳統括薬剤部長



昭和医科大学連携病院・協定病院連絡協議会では、連携病院・協定病院による近況報告と「臨床薬剤師による薬剤業務向上加算への対応等」と題し、田中克巳統括薬剤部長から、薬剤業務向上加算への対応に関する体制について発表があった。

その後行われた意見交換会では、今後の連携・協力について活発に意見が交わされた。

今後も更なる連携活動の強化を図っていく。

2025.5.9

式典・行事 看護専門学校

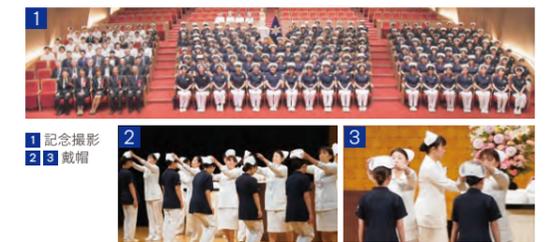
臨地実習に臨む2年生へ戴帽式挙行 ナイチンゲール精神の象徴を受け継ぐ149名

5月9日、第61回戴帽式を昭和医科大学上條記念館で執り行った。

戴帽式とは、臨地実習に臨む看護専門学校の2年生を対象に、看護師を目指す者としての自覚と責任を新たにし、その証としてナースキャップを授与する式典であり、毎年実施している。

学生149名一人ひとりに、教育職員からナースキャップの授与を行った後は、在校生代表の関口晴日さんとともにナイチンゲール誓詞が唱和され、学生一同は、これから始まる臨地実習への決意を新たにしました。

木内祐二学校長は告辞で「ナイチンゲールの精神を胸に、患者に寄り添う誠実な看護を実践してください。臨地実習では皆さんの成長を医療スタッフと共に支援します」と述べた。



1 記念撮影
2 3 戴帽

続いて、久光正学長^{*}、小口勝司理事長、上條由美副理事長^{*}、城所扶美子統括看護部長から祝辞があった。

久光学長は祝辞で「ナイチンゲールのように、皆さんも学びを重ねて『昭和の天使』と呼ばれる看護師を目指してください」と今後の研鑽に期待を寄せた。

最後に在校生代表による昭和医科大学宣言が行われ、看護専門学校の歌を斉唱して閉式となった。

^{*}開催当時

2025.4.19

連携・貢献

中学生保護者向け講演会を実施

4月19日、本学の包括連携協定校である文教大学付属中学校・高等学校にて、浅沼瞳准教授(保健医療学部看護学科)が、保護者の方に向けて講演会を実施した。

浅沼准教授は「思春期のメンタルヘルス」というテーマで講演を行い、中学2年生から3年生までの生徒の保護者が参加した。

講演会では、思春期の子どものメンタルヘルスにおける様々な問題とその背景、親が子どものメンタルヘルスを理解するヒントについて説明があり、参加された保護者の方々はメモを取られるなど、熱心に聞き入っていた。

この講演会は、2024年12月13日に締結された両校の包括連



1 当日の様子 2 講演会(浅沼瞳准教授)

携協定に基づく中高大連携強化の一環として実施された。今後も両校は、様々な相互交流を通じて、連携を強めていく。

65名の学生を奨学生(給付型)に採用

5月26日、令和7年度昭和医科大学特別奨学生・シンシアー奨学生採用式を上條記念館で挙行了。今年度は、特別奨学生として医・歯・薬学部あわせて24名、シンシアー奨学生として医・歯・薬・保健医療学部あわせて41名が採用された。

昭和医科大学特別奨学金は、卒業後直ちに本学大学院へ進学、本学大学院修了後、引き続き本学において4年以上専任教育職員として教育・研究・診療に従事すること等を条件として、5年次への進級が確定した医・歯・薬学部の学生に給付するものである。

昭和医科大学シンシアー奨学金は、医・歯・薬・保健医療学部の2年次、3年次および4年次の学生のうち、優れた医療人を目指す資質があることや、課外活動等を積極的に行っていること等の条件を満たした学生に給付するものである。

上條由美学長より「本奨学金制度については、社会に貢献する

優れた医療人を育成するという教育理念を体現するものです。本奨学金制度の趣旨を理解し、日々の学修に励み、未来の医療を担う人材として成長してってください。皆さんの努力を大学全体が応援しています。これからも研鑽を積み、誇りと使命に胸を熱くして歩み続けることを期待しております」と挨拶をいただいた。

採用式終了後には、昭和医科大学特別奨学生の会が開催され、特別奨学生を経て本学の教育職員として活躍する先輩たちとの交流が行われた。

1 記念撮影(シンシアー奨学生)
2 記念撮影(特別奨学生)



アメリカでの招待講演を契機に実現 半導体大手NVIDIA副社長が表敬訪問

佐藤洋輔教授(脳機能解析・デジタル医学研究所所長、医学部脳神経外科学講座)が、NVIDIA GTC[※](3月17日~21日:カリフォルニア州サンノゼ)において、ヘルスケアとライフサイエンスのカンファレンスセッション「脳研究の新たなフロンティア:リアルタイムイメージング、BCI、AI主導の神経科学探究」において、Brain Techの世界代表として招待講演を行った。

そして、4月15日、久光正学長[※]が、アメリカを代表する半導体大手NVIDIA(エヌビディア)のVice President of HealthcareのKimberly Powell(キンバリー・パウエル)氏の表敬訪問を受けた。当日は、Kimberly Powell氏、David Niewolny氏が来校し、久光正学長[※]、佐藤洋輔教授と懇談された。

今回の表敬訪問は、NVIDIA GTC(3月17日~21日:カリフォルニア州サンノゼ)にて佐藤教授がBrain Techの世界代表として招待講演を行ったことに関連しており、Kimberly Powell氏から希望があり実施された。

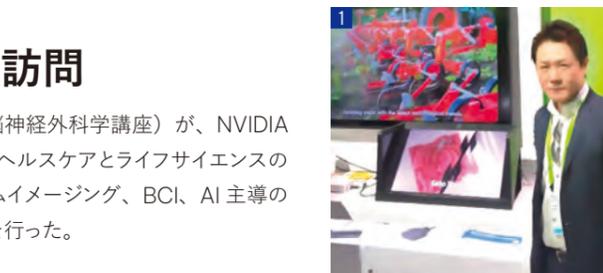
医療現場におけるAI技術活用の可能性や、今後の産学連携について意見が交わされた後は、脳機能解析・デジタル医学研究所で技術見学が行われた。

【佐藤洋輔教授の招待講演に対するコメント】

今年度を素晴らしい形で迎えられる経験となりました。

歴史ある昭和医科大学において、脳機能解析・デジタル医学研究と臨床脳神経外科に従事する機会を与えてくれている大学組織全体に感謝しています。本技術開発を御評価・御支援頂いている小口勝司理事長、久光正学長[※]をはじめとする昭和医科大学の皆様、その他関係各位に感謝いたします。

研究所と脳神経外科のスタッフの皆様、いつもありがとうございます。



1 佐藤洋輔教授と技術展示の様子
2 懇談の様子
3 (左から) David Niewolny氏、Kimberly Powell氏、久光正学長、佐藤洋輔教授

そして、貴重な機会を頂いたNVIDIA、技術協力を頂いたYUANに感謝申し上げます。

この成果を応援いただいているすべての方々に捧げます。

※開催当時
※NVIDIA GTCは、世界最大級の半導体メーカー「NVIDIA」が主催する最先端のAIを中心としたトピックスとして扱う発表会・展示会。

関連リンク/NVIDIA GTC [https://www.nvidia.com/gtc/sessions/healthcare-and-life-sciences/Neurosurgery Now: NVIDIAのHoloscan AIがリアルタイム3Dビジョンを実現し、2025 GTCで手術の精度を向上\(geneonlineニュース記事\) <https://www.geneonline.com/neurosurgery-now-nvidias-holoscan-ai-brings-real-time-3d-vision-to-enhance-surgical-precision-at-2025-gtc/>](https://www.nvidia.com/gtc/sessions/healthcare-and-life-sciences/Neurosurgery%20Now%3A%20NVIDIA%20the%20Holoscan%20AI%20that%20brings%20real-time%203D%20vision-to-enhance-surgical-precision-at-2025-gtc/)

国を越え相互理解と協力で繋ぐ信頼関係を目指し 8カ国12名の大学院留学生を歓迎

本学では毎年、新入留学生を歓迎することを目的に、国際交流センター主催によるウェルカムパーティーを開催している。今年は5月27日に旗の台キャンパスの上條記念館バンケットルーム富士桜にて、大学院留学生ウェルカムパーティーを開催した。

今回は、ルーマニア、フィリピン、ベトナムをはじめとした8カ国の学生を12名迎えた。

当日は、各大学院留学生の出身国の駐日大使館関係者をお招きし、上條由美学長および各大使館関係者による挨拶の後、宮崎隆国際交流センター長の乾杯をきっかけとして、大学院留学生たちは、大使館関係者や本学教育職員、学部留学生等との交流を大いに深めた。

また、大学院留学生は、英語や日本語などを交えて自己紹介を行い、本学での研究・研修の意気込みを語った。



1 歓談の様子 2 記念撮影 3 記念撮影

12名の留学生は、引き続き昭和医科大学の各施設で学修・研究に励む。

緊急避妊薬の試験販売に先駆けた 性教育に関する実態調査論文が SMF論文奨励賞を受賞

百賢二准教授(薬学部病院薬剤学講座臨床研究部門)が公益財団法人杉山記念財団の第6回SMF論文表彰制度で奨励賞を受賞した。百准教授は2023年11月から開始となった緊急避妊薬の試験販売に先駆け、全国の18歳~45歳の女性約5,000名に対して、性に関する知識について調査を行い、性教育の重要性について改めて強調した点が高く評価され、同賞に選定された。

【百賢二准教授のコメント】

この度は、このような賞を頂戴し、誠に光栄に思います。

緊急避妊薬の市販化は、2020年頃より議論が始まり、2022年末に実施されたパブリックコメントにおいて多くの国民から市販化に賛同する旨の回答が得られました。アカデミアの立場としては、市販化の是非に関わらず、性教育の重要性や緊急避妊薬の具体的な情報について早急に社会に還元する必要性がありました。

本研究は、三邊武彦教授(統括研究推進センター)、白土なほ子准教授(医学部産婦人科学講座)、龍家圭准教授(臨床薬理研究所)らからの大いなるバックアップの元、急ピッチで全国調査を行い、学術論文としてまとめたものです。実際に18歳から45歳の女性において、半数程度が性に関する知識が十分でないこと、また緊急避妊薬の使用が想起されるシーンを経験した女性の4割がそのまま様子を見ていたということも明らかとなりました。

現在はこれらの情報に基づき、富士吉田キャンパスにおいて1年生向けの性教育の講義を本学臨床薬剤師と白土准教授を講師として毎年4月に行っております。

本研究の遂行にあたり、共同研究者である病院薬剤学講座病



前段左より、三邊武彦教授(統括研究推進センター)、百賢二准教授(薬学部病院薬剤学講座臨床研究部門)、白土なほ子准教授(医学部産婦人科学講座)、肥田典子教授(薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門)後段左より、諸星北人講師(医学部衛生学公衆衛生学講座衛生学公衆衛生学部門)、龍家圭准教授(臨床薬理研究所)、瀧田寛子講師(医学部産婦人科学講座)

院薬剤学部門の磯崎遥助教、大島有貴助教、楠裕美子助教、田川菜緒助教、服部はるか助教、守屋賀奈絵助教、前田絵里加特別研究生をはじめとした、多くの先生方のご協力に心より感謝申し上げます。今後も本研究成果をさらに発展させ、国民にとって有用な情報を構築していきたいと思っております。

掲載誌/Biol Pharm Bull. 2023;46(9):1296-1303

論文名/Descriptive Study on a Nationwide Exploratory Questionnaire Survey of Emergency Contraceptive Pills and Their Sexual History and Knowledge in Japan.

著者/Momo K, Maeda E, Hattori H, Isozaki H, Takita H, Morohoshi H, Ryu K, Hida N, Sambe T, Shirato N.

DOI/10.1248/bpb.b23-00268

関連リンク/Biological and Pharmaceutical Bulletin https://www.jstage.jst.go.jp/article/bpb/46/9/46_b23-00268/_article 公益財団法人杉山記念財団 SMF論文表彰発表 <https://www.sugiyama-foundation.org/%E8%A4%87%E8%A3%BD-%E5%8A%A9%E6%88%90%E7%99%BA%E8%A1%A8>

森村学園の高校生が富士吉田での生活を体験 富士吉田キャンパス施設見学会

3月24日、本学の特別協定校である森村学園高等部の生徒を対象に、富士吉田キャンパスで施設見学会を実施した。

この施設見学会は、本学の特色の1つである1年次での寮生活への理解を深める目的で、本学への進学に興味のある高等部の生徒を対象に実施した。

前週に降った雪がまだ残っていたが、当日は過ごしやすい気候の中、学生寮見学や体験実習が行われた。

参加した生徒は入学時に実際に生活することになる寮についてとても関心が高く、沢山の質問を交えながら見学し、本学の在学生に実際に提供されている学食も体験した。

体験実習では、血圧測定や気道異物除去など専門的な学習を



前に、緊張の面持ちを浮かべながらも真剣に取り組んでいた。今後も両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

日本薬学会第145年会にて 学術貢献賞などを受賞

日本薬学会第145年会(3月26日~29日:福岡国際会議場)において、板部洋之教授(薬学部基礎薬学講座生物化学部門)が、2025年度日本薬学会学術貢献賞を受賞した。また、学生や研究生らが学生優秀発表賞を受賞した。

受賞者と演題名については以下の通り。

演題名	受賞者
「動脈硬化発症に関わる脂質代謝の研究：生体内酸化LDLの構造解明と細胞内脂肪滴制御機構」	薬学部基礎薬学講座生物化学部門 板部 洋之教授
「リポ多糖誘導性肺炎におけるプロスタサイクリン合成酵素の機能解析」	薬学研究科2年(当時) 本沢 駿弥さん
「マウス乳がんモデルを用いた化学発がんにおけるプロスタサイクリン合成酵素の機能解析」	薬学部6年(当時) 倉塚 紗さん
「腸内細菌由来超硫黄分子によるストレス制御」	薬学研究科特別研究生 内山 純さん
「環境中親電子物質による腸内細菌タンパク質への化学修飾を介した酵素機能への影響」	薬学研究科特別研究生 今井 梨可さん
「SMTP-44Dの糖尿病網膜症に対するin vivo およびin vitro モデルでの効果」	薬学研究科4年(当時) 石橋 未央さん
「口腔内に適用する製剤のin vitro付着性試験の開発」	薬学研究科3年(当時) 松川 駿介さん
「サクビトリアルサルタンを導入した心不全患者におけるループ利尿薬減量に関連する因子と心不全治療薬の併用方法の検討」	薬学研究科4年(当時) 岩崎 恵里佳さん



1 板部洋之教授 2 左から、本沢駿弥さん、原俊太郎教授、倉塚紗さん 3 左から、秋山雅博准教授、内山純さん、今井梨可さん、肥田典子教授 4 左から、柴田佳太准教授、石橋未央さん、野部浩司教授 5 左から、百賢二准教授、肥田典子教授、松川駿介さん、湯川朱夏さん、原田努准教授 6 左から、里美貴講師、大林真幸准教授、岩崎恵里佳さん、花澤聖さん、向後麻里教授

関連リンク/日本薬学会第145年会 <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/pharm145>

認定看護管理者教育課程 開講式 ファースト・セカンド両レベルをオンラインにて開催

2025年度認定看護管理者教育課程のファーストレベルおよびセカンドレベルの開講式を5月16日と6月13日、オンラインで開催した。

ファーストレベル開講式で、小川良雄リカレントカレッジプリンシパルは「皆さんは本日から120時間の研修の中で、管理者として必要なことを勉強していただきます。スタッフが全力でサポートしますので、ここでの学びを次のステップに繋げていただきたいと思います。健康に留意しながら学修し、修了できることを願って



1 ファースト開講式告辞：小川良雄プリンシパル 2 セカンド開講式：記念撮影

おります」と告辞を述べた。

セカンドレベル開講式では、増田千鶴子看護キャリア開発・研究センター長が「受け身ではなく積極的に学び、苦手な事柄にも挑戦する姿勢を期待している」と祝辞を述べた。

聖園女学院にて出張学校説明会 未来ある高校生に医療職の魅力を語る

3月25日、本学の包括連携協定校である聖園女学院にて肥田典子教授(薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門)が、学校説明会を実施した。

肥田教授は「患者さんに寄り添う仕事とは? ~医療職の魅力とやりがい~」というテーマで講演を行い、中学1年生から高校2年生までの生徒と保護者が参加した。

説明会では、昭和医科大学の特色である1年次全寮制やチーム医療教育について説明があり、医療系職業の魅力ややりがい



当日の様子

について語った。

また、肥田教授は自身のキャリアを通じて「進路について迷うことは当然。毎日の出来事を大切にしてください」と生徒たちにメッセージを送り、深い感銘を与えた。この学校説明会は、2025年1月27日に締結された両校の包括連携協定に基づく高大連携強化の一環として実施された。

今後も両校は、様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

日本歯科医学会会長賞受賞 歯科医学教育・地域医療の発展に尽力

佐藤裕二名誉教授(歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門)が日本歯科医学会第114回評議員会(2月18日:歯科医師会館)において日本歯科医学会会長賞(教育部門)を受賞した。同賞は歯科医学教育に30年以上従事し、歯科医学・医術の研究に成果を収めその向上に特に著しい功績があった方に贈られる。

左から佐藤名誉教授、住友雅人先生(日本歯科医学会会長)



【佐藤裕二名誉教授のコメント】

このたび、日本歯科医学会会長賞という名誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。本賞は研究・教育・地域医療の分野で顕著な功績を残した者に贈られる権威ある賞であり、今回は「教育」の分野で表彰いただきました。

昭和大学(現 昭和医科大学)に長年在籍し、教育委員長として教育改革に尽力してまいりました。学生の人間性を重視した教育を推進し、厳しくも実りある学びの場を提供できたことを誇りに思います。卒業式の謝恩会で表彰され、学生とステージで踊ったことは、今回の受賞に次ぐ喜びの一つでした。

また、歯科医学教育学会では常任理事を務め、「歯科医学教育白書」の刊行に尽力し、歯科医学教育の発展に貢献できたことを嬉しく思います。日本歯科医学会では常任理事として活動し、歯

科医療協議会ではタイムスタディを担当し、業務の効率化と質の向上に努めました。

この受賞は、私一人の力では決して成し得なかったものです。昭和医科大学、教育職員、スタッフ、学生の皆さま、また学会関係者、共同研究者、臨床現場のスタッフの方々に深く感謝申し上げます。

歯科医療は、人々の健康と生活の質を支える重要な分野です。この賞を励みに、今後も次世代の歯科医療の発展に微力ながら貢献してまいります。改めて、私を育ててくださった昭和医科大学に心より御礼申し上げます。

関連リンク/日本歯科医学会 <https://www.jads.jp/> 日本歯科医学会、第114回評議員会を開催 <https://www.quint-j.co.jp/articles/topics/6161>

コケ観察会



コケテラリウム作り



富士吉田自然教育園 イベント一覧

- ・クラフトコーラ作り
- ・クロモジ楊枝・お茶作り
- ・コケ観察会とコケテラリウム作り
- ・ジャック・オー・ランタン作り
- ・さつまいも収穫・焼き芋作り
- ・芋煮会
(野菜収穫とコンニャク作り)
- ・餅つき



芋煮会



学生寄稿

富士吉田自然教育園・ 横浜自然教育園の特徴と取り組み

昭和医科大学には、横浜キャンパスと富士吉田キャンパスに自然教育園があります。自然教育園は、本学の学生が自然と触れ合うことで豊かな人間性を育む自然環境教育の実践を目的とした施設です。

富士吉田自然教育園では、アカマツ林や芝生、畑、ピオトープなど様々な環境が整備されており、四季折々に様々な植物や野鳥などの小動物を観察することができます。また、畑では無農薬で栽培を行っており、収穫した作物はイベントで活用する他、学生向

けの食堂に提供しています。

横浜自然教育園では、梅林やバラ園、竹林、池など庭園を意識した作りとなっており、四季を通じて様々な花を楽しむことができます。また、毎月第2・第4土曜日の9:30～16:00には一般開放を行っており、一般の方にも教育園を憩いの場として提供しています。

なお、各施設にはバーベキュー場があり、学生と教員との交流、職員間の交流の場として活用されています。



流しそうめん

七夕

カボチャ重さ当り



ジャック・オー・ランタン作り

ジャック・オー・ランタン作り



さつまいも収穫



焼き芋作り



ジャック・オー・ランタン作り

梅ジュース・梅酒作り



梅の実収穫祭



梅まつり



横浜自然教育園 イベント一覧

- ・梅の実収穫祭
- ・梅ジュース・梅酒作り
- ・七夕
- ・流しそうめん
- ・ジャック・オー・ランタン作り
- ・カボチャ重さ当て
- ・緑風祭(出店)
- ・梅まつり



Pick Up! イベント紹介



5/28 梅収穫イベント

5月28日、横浜自然教育園にて「梅の実収穫祭」を開催し、保健医療学部の学生および教職員約30名に梅の収穫を楽しんでいただきました。収穫後には教育園の梅で作った梅ジュースを提供し、参加者は収穫した梅を袋いっぱいに入れて持ち帰っていました。



自然教育園でアルバイトしませんか? 梅の季節の思い出

横浜自然教育園には200品種以上の梅の木があり、実った梅を学生や先生たちと一緒に収穫しました。また、収穫した後は梅ジュースを参加してくれた人に提供しました。梅ジュースはとても好評で、みんな美味しく飲んで嬉しかったです。皆さんも梅収穫や梅に興味を持ってくれたら嬉しいです。私は、自然教育園のアルバイトとして、農作業の手伝いやイベントのサポートをしています。興味のある人は一緒にアルバイトしましょう! ぜひお待ちしております。

保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻3年
船田 徹平



仲間と協力し合った収穫祭

今年で2度目の梅の収穫祭に参加しました。初めてのときは、どの実を取ればいいのか迷いながらの収穫でしたが、気がつけば「この梅はきれい!」「どれが一番大きいか?」と友人と会話をしながら、夢中で梅を取っていました。昨年は収穫した梅を使って梅ジュースなどを作る体験もさせていただき、自分で取った梅の味は格別でした。今年も持ち帰った梅でジュースを作る予定です。貴重な体験ができたので、参加できて良かったです。

保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻3年
山崎 実桜



今年も梅収穫へ —梅ジュース作りの楽しみ—

昨年に引き続き、自然教育園の梅収穫イベントに参加させていただきました。普段自然に触れることがあまりないので、昨年参加した際に新鮮で楽しかったという思い出があり、今年も楽しみにしていました。様々な大きさの梅を高い所や低い所から自分で選んで収穫することがとても楽しかったです。またその梅を自分で砂糖水に漬けて作る梅ジュースを飲むことが待ち遠しいです。また同様のイベントがあったらぜひ参加したいです。

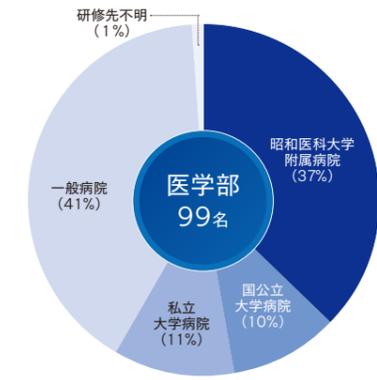
保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻3年
野口 はるか



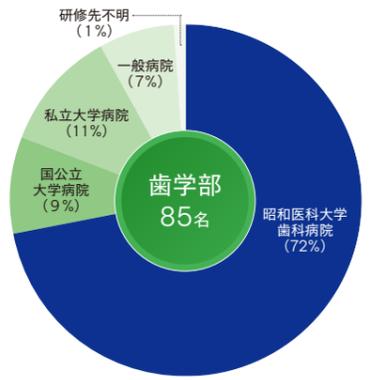
令和6年度

卒業生の進路状況

令和6年度昭和大学医・歯・薬・保健医療学部を卒業した学生を対象に実施した進路先調査の結果。例年と同様、国家資格を活かした医療機関への就職の他、教育・研究や後進指導を視野に入れた進路選択が傾向として顕著に見られた。

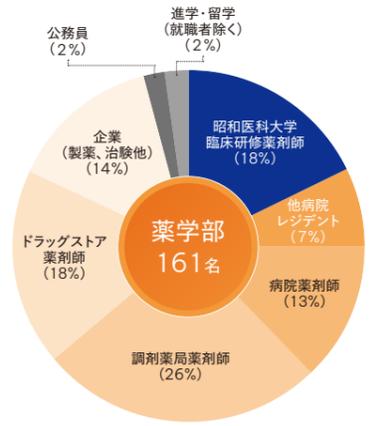


【主な研修先】
昭和医科大学病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学江東豊洲病院、筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、千葉大学病院、東京科学大学病院、名古屋市立大学附属西部医療センター、広島大学病院、慶應義塾大学病院、埼玉医科大学国際医療センター、自治医科大学附属病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京慈恵会医科大学附属第三病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、東邦大学医療センター大橋病院、東邦大学医療センター大森病院、獨協医科大学埼玉医療センター、日本医科大学千葉北総病院、小田原市立病院、川口市立医療センター、総合病院鹿児島協病院、IMS医療法人社団明芳会横浜旭中央総合病院、IMS医療法人社団明芳会板橋中央総合病院、NTT東日本関東病院、伊勢崎市民病院、医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院、医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院、川崎市立川崎病院、東京都立広尾病院 他

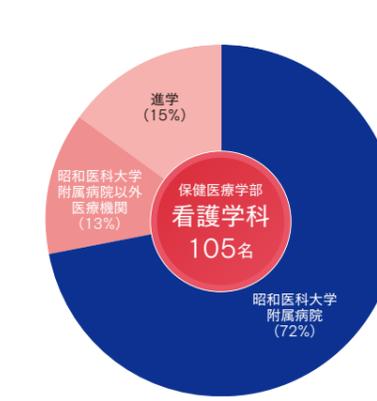


【主な研修先】
昭和医科大学歯科病院、東北大学病院、大阪大学歯学部附属病院、岡山大学病院、鹿児島大学病院、東京科学大学（旧：東京医科歯科大学）、広島大学病院、北海道大学病院、神奈川歯科大学附属横浜クリニック、慶應義塾大学病院、日本大学歯学部附属歯科病院、日本歯科大学附属病院、医療法人社団歯友会赤羽歯科、医療法人徳真会グループわかば台デンタルクリニック、自衛隊中央病院、東京都立病院機構東京都立豊島病院、東京都立病院機構東京都立荏原病院、デンマ歯科医院 他

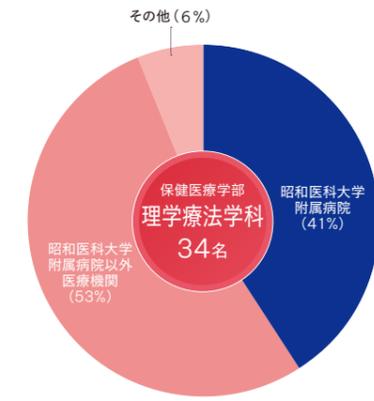
※人数は国試合格者数です。



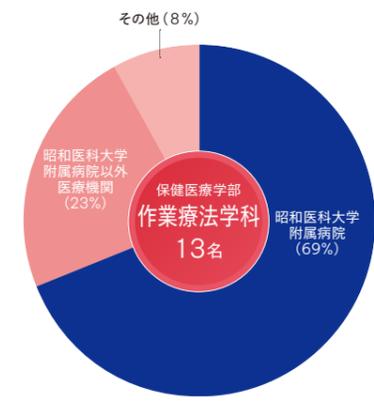
【主な就職先・進路先】
病院薬剤師…昭和医科大学臨床研修薬剤師、国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、医療法人明和会亀田病院、群馬大学医学部附属病院、東京都立病院機構、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立病院 他
調剤薬局…日本調剤(株)、(株)アインホールディングス、総合メディカル(株)、クオールホールディングス(株)、(株)アップルケアネット、クラフト(株) 他
ドラッグストア…(株)スギ薬局、(株)クリエイトエス・ディー、(株)サンドラッグ、ウエルシア薬局(株)、ココカラファイン、(株)トモズ 他
企業…IQVIAジャパン、シミック(株)、イービーエス(株)、三菱商事ライフサイエンス(株)、アッヴィ合同会社、持田製薬(株)、佐藤製薬(株)、ICON クリニカルリサーチ合同会社、エイツーヘルスケア(株)、(株)新日本科学PPD、エステー(株)、養命酒製造(株) 他
公務員…静岡県職員、東京都庁、陸上自衛隊幹部候補生進学…昭和医科大学大学院



【主な就職先・進路先】
昭和医科大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院、昭和医科大学横浜市北部病院、昭和医科大学病院、昭和医科大学江東豊洲病院、国家公務員共済組合連合会 虎の門病院、神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター、北里大学病院、慶應義塾大学病院、国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院、済生会横浜市南部病院、信州大学医学部附属病院、神奈川県立病院機構神奈川県立精神医療センター、地域医療機能推進機構東京高輪病院、日本赤十字社医療センター、横浜市 他
進学…昭和医科大学助産学専攻 他



【主な就職先】
昭和医科大学病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院、昭和医科大学江東豊洲病院、昭和医科大学横浜市北部病院、日本医科大学付属病院、国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院、医療法人五つ星新横浜リハビリテーション病院、社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス座間総合病院、IMSグループ医療法人社団明芳会横浜新都市脳神経外科病院、医療法人社団明芳会江田記念病院、医療法人社団ユニメディコ、横浜新都市脳神経外科病院、蒲田リハビリテーション病院 他



【主な就職先】
昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院、昭和医科大学病院、昭和医科大学鳥山病院、昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学横浜市北部病院、医療法人五つ星会菊名記念病院、医療法人社団大和会大内病院、社会医療法人社団蛸水会名戸ヶ谷病院 他

令和6年度

私立大学等経常費補助金交付状況

日本私立学校振興・共済事業団は令和7年3月、私立の大学、短期大学、高等専門学校に交付する令和6年度の経常費補助金が、2,979億7,468万7千円になると発表した。私立大学等経常費補助金は、①私立大学等（私立の大学・短期大学・高等専門学校）の教育研究条件の維持向上、②学生の修学上の経済的負担の軽減、③私立大学等の経営の健全性向上に資するため、日本私立学校振興・共済事業団が国から補助金の交付を受け、これを財源として学校法人に対して設置学校の経常的経費について補助するもの。この補助金には、各学校における教職員数や学生数等に所定の単価を乗じて得た基準額を教育研究条件の状況に応じ傾斜配分する「一般補助」と、教育研究に関する特色ある取組に応じ配分する「特別補助」がある。令和6年度は、大学588校、短期大学259校、高等専門学校2校の計849校に交付され、本学では4番目に多い交付額だった。

順位 (前年)	大学名	一般補助	特別補助	補助金合計
1	(1) 早稲田大学	7,953,944	1,015,103	8,969,047
2	(2) 慶應義塾大学	8,206,034	647,243	8,853,277
3	(5) 立命館大学	5,440,120	549,900	5,990,020
4	(3) 昭和大学	5,500,890	245,526	5,746,416
5	(6) 順天堂大学	5,106,188	484,894	5,591,082
6	(4) 東海大学	5,079,442	212,657	5,292,099
7	(7) 近畿大学	4,253,063	266,350	4,519,413
8	(8) 北里大学	3,826,023	286,970	4,112,993
9	(10) 帝京大学	3,279,021	346,365	3,625,386
10	(11) 東京理科大学	3,270,905	250,584	3,521,489
11	(9) 福岡大学	3,351,513	154,975	3,506,488
12	(13) 藤田医科大学	3,195,470	147,154	3,342,624
13	(12) 関西大学	2,842,762	399,378	3,242,140
14	(16) 関西学院大学	2,899,193	327,930	3,227,123
15	(14) 東京慈恵会医科大学	2,991,198	149,552	3,140,750

2025年度秋季・2026年度春季 大学院入学試験要項 決定

2025年度秋季・2026年度春季大学院入学試験要項を公開し、2025年度秋季・2026年度春季I期入試の出願がスタートした。昨年度からの変更点は、医・歯・薬学研究科の外国語（英語）の試験時間が3時間から2時間となる点だ。

※入学時期 秋季：2025年10月 春季I期・II期、春季：2026年4月

- ◆医学研究科（博士課程募集人員：60名）
- ◆歯学研究科（博士課程募集人員：22名）
- ◆薬学研究科（博士課程募集人員：15名）

	秋季・春季I期	春季II期
出願資格認定受付期間（対象者のみ）	2025年6月2日(月)～6月12日(休)	2025年12月1日(月)～12月11日(休)
出願期間	2025年7月18日(金)～8月1日(金) 13時まで	2026年1月26日(月)～2月6日(金) 13時まで
試験日	2025年8月16日(土)	2026年2月23日(月祝)
合格発表	2025年9月4日(休) 16時	2026年3月5日(休) 16時

- ◆保健医療学研究科（募集人員 博士前期課程：20名、博士後期課程：6名）

	秋季	春季
出願資格認定受付期間（対象者のみ）	2025年6月23日(月)～7月9日(休) 17時	2025年9月29日(月)～10月8日(休) 17時
出願期間	2025年7月22日(火)～8月13日(休) 17時	2025年10月6日(月)～10月29日(休) 17時
試験日	2025年8月23日(土)	2025年11月8日(土)
合格発表	2025年9月4日(休) 15時	2025年11月28日(金) 15時

学校法人昭和大学 決算の概要

令和6年度 学校法人昭和大学の決算は、令和7年5月23日の臨時理事会で承認され、同日の評議員会にて報告した。令和6年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行してから1年が経過し、コロナ前の状態に戻りつつある中で、医療収入は前年度を上回る推移を辿っているが、物価高騰の影響により薬品費、医療材料費等の支出が増加傾向にあり、「増収減益」となっている。設備投資と

しては、教育環境を整備すべく、鷺沼キャンパス新校舎の建設が着工し、富士吉田キャンパス新実習棟の建設工事も予定どおり進行している。附属病院の診療環境の整備においては、昭和大学病院で放射線治療システム、北部病院でMRI装置の機器更新を行った。外部資金の獲得では、私立大学等経常費補助金の交付額が全国4位となった。

1. 資金収支について

資金収支は、法人の諸活動に対応する資金の動きを伴う収入支出の内容を示しています。当年度の資金収入は、1,566億6,819万円（前年度繰越支払資金を除く）、資金支出は、1,590億9,124万円（翌年度繰越支払資金を除く）で、支払資金は、24億2,305万円の減少となりました。

収入の部の主要科目については、予算と比べて、学生生徒等納付金収入は、1億3,970万円の減額、手数料収入は、615万円の減額、寄付金収入は、1億7,623万円の増額、補助金収入は、4,422万円の減額、資産売却収入は、33億525万円の増額、付随事業・収益事業収入は、3億6,919万円の増額、医療収入は、15億2,979万円の増額、雑収入は、3億7,438万円の増額、その他の収入は、特定資産取崩収入等により、38億113万円の増額でした。

支出の部の主要科目については、予算と比べて、人件費支出は、4億6,621万円の増額で執行率は100.9%、教育研究経費支出は、28億9,514万円の増額で執行率は104.6%となりました。この教育研究経費支出の中で大きな比重を占める、薬品費・医療材料費・給食材料費・医療委託費の支出からなる「直接医療経費」は、医療収入の38.4%となりました。管理経費支出は、14億4,489万円の減額で執行率は76.2%でした。また、土地、建物等の施設関係支出は、9億6,772万円の減額で執行率は91.5%、教育研究用機器備品、図書などの設備関係支出は、7億571万円の減額で執行率は88.4%、資産運用支出は、有価証券購入支出等により、35億5,667万円の増額でした。これら以外の科目では借入金等返済支出、その他の支出等があります。

2. 事業活動収支について

事業活動収支は、企業会計の損益計算に近いもので、収支均衡状態を測定し経営状況を明らかにするものです。諸活動の収入を合算した事業活動収入は、1,392億6,644万円となり、予算と比べて、25億2,790万円の増額となりました。科目ごとの金額は、資金収支と重複しますので、主要科目の構成割合を以下に示します。学生生徒等納付金7.1%、経常費等補助金4.9%、医療収入83.3%でした。一方、事業活動支

出は、1,357億5,328万円となり、予算と比べて、18億7,956万円の増額となりました。構成割合は、人件費41.0%、教育研究経費54.7%、管理経費4.1%となりました。なお、資金の動きを伴わない退職給与引当金繰入額20億4,764万円は人件費に、減価償却額79億4,070万円は教育研究経費と管理経費に含まれてい

令和6年度 資金収支計算書

(単位:円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	9,938,658,364	人件費支出	55,367,083,356
手数料収入	396,889,660	教育研究経費支出	67,272,879,717
寄付金収入	847,748,134	管理経費支出	4,631,390,108
補助金収入	6,800,852,128	借入金等利息支出	90,193,149
資産売却収入	3,305,248,500	借入金等返済支出	1,366,840,000
付随事業・収益事業収入	2,762,238,552	施設関係支出	10,385,720,757
医療収入	115,986,562,335	設備関係支出	5,397,894,515
受取利息・配当金収入	415,059,930	資産運用支出	15,746,672,572
雑収入	1,956,423,119	その他の支出	12,678,831,984
借入金等収入	220,000,000		
前受金収入	1,917,004,833		
その他の収入	34,266,938,379		
資金収入調整勘定	△22,145,430,785	資金支出調整勘定	△13,846,260,977
前年度繰越支払資金	29,886,448,248	翌年度繰越支払資金	27,463,396,216
収入の部合計	186,554,641,397	支出の部合計	186,554,641,397

令和6年度 事業活動収支計算書

(単位:円)

教育活動収支		特別収支	
事業活動収入の部		事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	9,938,658,364	資産売却差額	8,382,635
手数料	396,889,660	その他の特別収入	557,424,979
寄付金	641,043,484	特別収入計	565,807,614
経常費等補助金	6,609,128,502	事業活動支出の部	
付随事業収入	2,512,320,388	資産処分差額	154,907,622
医療収入	115,986,562,335	その他の特別支出	36,215,597
雑収入	1,951,054,382	特別支出計	191,123,219
教育活動収入計	138,035,657,115	特別収支差額	374,684,395
事業活動支出の部		基本金組入前当年度収支差額	3,513,164,437
人件費	55,599,146,381	基本金組入額合計	△14,781,947,678
教育研究経費	74,292,251,658	当年度収支差額	△11,268,783,241
管理経費	5,533,743,206	前年度繰越収支差額	△104,664,884,419
徴収不能額等	46,820,773	翌年度繰越収支差額	△115,933,667,660
教育活動支出計	135,471,962,018		
教育活動収支差額			
2,563,695,097			
教育活動外収支			
事業活動収入の部			
受取利息・配当金	415,059,930		
その他の教育活動外収入	249,918,164		
教育活動外収入計	664,978,094		
事業活動支出の部			
借入金等利息	90,193,149		
その他の教育活動外支出	0		
教育活動外支出計	90,193,149		
教育活動外収支差額			
574,784,945			
経常収支差額			
3,138,480,042			

ます。教育活動収支と教育活動外収支からなる経常収支差額は、31億3,848万円の収入超過となりました。基本金組入前当年度収支差額は、35億1,316万円の収入超過で黒字となり、事業活動収支差額比率は、2.52%でした。基本金組入額147億8,195万円を引いた当年度収支差額は、112億6,878万円の支出超過となりました。

3. 貸借対照表について

令和7年3月31日現在の財産状況を示しています。固定資産（土地・建物・機器備品・特定資産他）と流動資産（現金預金・未収入金他）の資産の部合計は、2,621億2,898万円で、前年度末と比べて53億8,950万円の増加となりました。主な変動要因として、固定資産の特定資産は、将来構想を実現するための積立金であり、令和6年度予算計上額の繰り入れ及び一部の特定資産を取り崩した結果、35億800万円の減少となりました。学内預金制度の資金は、学内預金引当特定資産として支払資金とは区分して保全管理しています。流動資産の現金預金は、24億2,305万円の減少となりました。

一方、固定負債（長期借入金・退職給与引

当金他）と流動負債（短期借入金・未払金他）の負債の部合計は、472億7,650万円で、未払金等で前年度末と比べて、18億7,633万円の増加となりました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた「正味財産」は、2,148億5,248万円で、前年度末と比べて、35億1,316万円の増加となりました。

※本学は財務情報の公開の一端として、当法人の「利害関係者」に財務諸表等の閲覧を行います。また、昭和医科大学ホームページにも財務諸表を公開します。※当法人の財務諸表は、学校法人会計基準に則って作成しており、補助金交付の表示区分となっております。

(財務担当理事 小風 暁)

貸借対照表

令和7年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
固定資産	206,700,920,104	固定負債	24,563,193,221
有形固定資産	154,413,261,220	流動負債	22,713,311,061
特定資産	40,044,301,919	負債の部合計	47,276,504,282
その他の固定資産	12,243,356,965	純資産の部	
流動資産	55,428,064,612	基本金	330,786,148,094
		繰越収支差額	△115,933,667,660
		純資産の部合計	214,852,480,434
資産の部合計	262,128,984,716	負債及び純資産の部合計	262,128,984,716

科学研究費助成事業 交付内定

令和7年度の科学研究費助成事業の交付が内定しました。本学は昨年度より5件多い343件が採択され、総計で4億1,475万円が交付されます。同事業は、人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的としており、研究者の審査・評価を経て、採択課題が選定されます。

令和7年度 総計 343件 414,750,000円

交付内定の内訳

令和7年5月現在(令和7年度転入者含む)

研究科・研究所別内訳	件数	金額(円)	研究種目別内訳	件数	金額(円)
医学研究科	127	152,550,000	学術変革領域研究(A)	3	20,600,000
歯学研究科	98	136,700,000	基盤研究(A)	1	15,300,000
薬学研究科	40	40,000,000	基盤研究(B)	17	63,100,000
保健医療学研究科	35	24,400,000	基盤研究(C)	198	202,350,000
富士吉田教育部	4	5,800,000	挑戦的研究(萌芽)	1	1,500,000
臨床薬理研究所	9	12,200,000	若手研究	110	101,900,000
先端がん治療研究所	4	3,700,000	国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	1	(※)0
発達障害医療研究所	3	4,000,000	研究活動スタート支援	8	6,900,000
富士山麓自然・生物研究所	3	6,600,000	特別研究員奨励費	4	3,100,000
ストレスマネジメント研究所	2	1,800,000			
細胞外マトリックス研究所	4	6,300,000			
臨床疫学研究所	4	5,600,000			
昭和医科大学横浜市北部病院 消化器センター	1	1,300,000			
医学英語教育センター	2	1,300,000			
国際交流センター	1	3,700,000			
統括研究推進センター	5	7,900,000			
認定看護師教育センター	1	900,000			

※1:研究開始年度に全額入金有り

総務課
大学広報係

「SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS」2026年2月号(新春号) 表紙写真の募集のお知らせ

新春号の表紙を飾る写真を募集します。皆さまからのご応募をお待ちしております。

【条件】◇デジタルカメラまたはスマートフォン搭載カメラで撮影されたデジタル画像(カラー・縮小していないもの)

- ◇ファイル形式:JPGまたはPNG
- ◇画素数:短辺2,000px以上、長辺3,000px以上のもの
- ◇風景写真(人物・絵画はNG)
- ◇自作未発表のもの

【備考】◇掲載時に誌面に合わせて写真をトリミング処理します
◇撮影後の写真について、合成等の過度な加工は選外になる場合がありますのでご注意ください

【応募方法・お問い合わせ】応募写真はメールへのデータ添付、もしくはファイル転送サービスをご利用ください。

◇氏名(ふりがな)、大学との関係(学生・職員・卒業生など)、撮影場所を明記。
※氏名、撮影場所を掲載しますのでご了承ください

◇送付先
学校法人昭和医科大学
総務部 総務課 大学広報係
メール:press@ofc.showa-u.ac.jp



学内会議報告



就任のお知らせ (4月8日 理事会承認)

昭和医科大学学長



上條 由美

任期：令和7年5月23日開催の評議員会終結の時～
令和10年3月31日

歯学部歯科保存学講座責任者



鈴木 規元

歯学部歯科保存学講座(歯内治療学部門)担当 教授
任命日：令和7年4月1日

医学部内科学講座(リウマチ・膠原病内科学部門)担当 教授(員外)
[勤務地：藤が丘病院内科系診療センター(内科)]



井上 嘉彦

医学部内科学講座(リウマチ・膠原病内科学部門)担当 准教授
[勤務地：藤が丘病院内科系診療センター(内科)]
任命日：令和7年4月1日

医学部内科学講座(腫瘍内科学部門)担当 教授(員外)
[勤務地：昭和医科大学病院腫瘍内科]



堀池 篤

医学部内科学講座(腫瘍内科学部門)担当 准教授
[勤務地：昭和医科大学病院腫瘍内科]
任命日：令和7年4月1日

藤が丘病院循環器センター(循環器内科)診療科長
[勤務地：藤が丘病院循環器センター(循環器内科)]



礒 良崇

医学部内科学講座(循環器内科学部門)担当 准教授
[勤務地：藤が丘病院循環器センター(循環器内科)]
任命日：令和7年4月1日

国際消化器内視鏡研修センター長(再任)

工藤 進英

現：国際消化器内視鏡研修センター長
任命日：令和7年4月1日
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

ICTセンター長



龍 家圭

統括研究推進センター 准教授
任命日：令和7年4月1日
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

統括がん情報センター長



角田 卓也

特任教授
[勤務地：昭和医科大学病院腫瘍内科]
任命日：令和7年4月1日
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

就任のお知らせ (5月13日 理事会承認)

昭和医科大学附属横浜看護専門学校長予定者



下司 映一

昭和医科大学附属横浜看護専門学校準備室長
選任日：令和7年5月13日

特任教授



久光 正

事由：創立100周年記念準備担当のため
任期：令和7年5月24日～令和8年3月31日

先端がん治療研究所 教授



鶴谷 純司

先端がん治療研究所 教授(員外)
[勤務地：先端がん治療研究所]
任命日：令和7年5月13日

藤が丘病院内科系診療センター長



井上 嘉彦

医学部内科学講座(リウマチ・膠原病内科学部門)担当
教授(員外)
[勤務地：藤が丘病院内科系診療センター(内科)]
任命日：令和7年5月13日

藤が丘病院循環器センター長



礒 良崇

医学部内科学講座(循環器内科学部門)担当 准教授
[勤務地：藤が丘病院循環器センター(循環器内科)]
任命日：令和7年5月13日

お詫びと訂正

2025年6月号(第625号)のP28に掲載しました、「就任のお知らせ」記事において、氏名に誤りがありました。

正しくは以下の通りです。ここにお詫びして訂正いたします。

【就任のお知らせ (3月11日 理事会承認)】

特任教授 継続 九島 巳樹

2025年6月号(第625号)の綴じ込みP.VIIに掲載しました、「第114回看護師国家試験(看護専門学校)の合格者数」において、数値に誤りがありました。

正しくは以下の通りです。ここにお詫びして訂正いたします。

【第114回看護師国家試験(看護専門学校)の合格者数】

145名

理事会関係

◆学校法人昭和医科大学組織図変更について

【変更箇所】至誠塾を法人組織に追加する。

【変更日】令和7年4月1日

◆「学校法人昭和医科大学コンプライアンス推進規程」制定の件
資料に基づき説明がなされ、審議の結果、原案のとおり承認された。

【制定趣旨】私立学校法の改正により、令和7年3月11日開催の理事会において決定した「学校法人昭和医科大学内部統制システムの整備・運用に関する基本方針」に基づき、本学におけるコンプライアンスを推進するために必要な事項を定めるため。

【施行日】令和7年4月1日

◆令和7年度法人・大学・病院活性化推進プロジェクト 名称変更について

【変更前】1次・2次救急における助教(病院直属)・臨床研修医の配置検討プロジェクト

【変更後】1次・2次救急体制検証プロジェクト

◆学校法人昭和医科大学組織図変更の件

【変更箇所】昭和医科大学医学部附属看護専門学校を昭和医科大学附属看護専門学校に変更する。

【変更日】令和7年4月1日

◆令和7年度昭和医科大学研究費不正防止計画

および公的研究費・研究活動に関するコンプライアンス教育、
啓発活動計画について

研究費不正防止計画および公的研究費・研究活動に関するコンプライアンス教育・啓発活動計画を定め、研究費の適正な運用および管理に取り組む旨の説明がなされ、承認された。

学務関係

◆令和6年度卒業生・修了生数について

学部：533名

大学院：114名、乙号学位授与数：38名

助産学専攻科：14名

医学部附属看護専門学校：144名

◆令和7年度学生数報告(令和7年5月1日現在)

学部・学科	在学生数
医学部 医学科	772名
歯学部 歯学科	603名
薬学部 薬学科	1,200名
看護学科	429名
理学療法学科	35名
保健医療学部 作業療法学科	16名
理学療法学専攻	118名
作業療法学専攻	37名
合計	3,210名

大学院	在学生数
医学研究科	285名
歯学研究科	109名
薬学研究科	103名
保健医療学研究科(博士前期課程)	51名
保健医療学研究科(博士後期課程)	17名
合計	565名

専攻科	在学生数
助産学専攻科	14名

専門学校	在学生数
昭和医科大学附属看護専門学校	449名

総合計：4,238名



i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

昭和医科大学医師会事務局

医師会アワード 「Persons of the year」を選出

昭和医科大学医師会主催の表彰制度である「Persons of the year」の令和6年度表彰が行われました。

Persons of the yearでは、本学旗の台キャンパスおよび昭和医科大学病院、附属東病院に勤務する職員を対象に診療・教育・研究・事務作業などで卓越した貢献者に感謝の意を表して1名が選出されました。多職種間で協働する環境において職員の活躍に注目し、活性化されることが望まれます。

Persons of the year ※敬称略・受賞当時

昭和医科大学病院附属東病院 管理課医事係 飯田 美香



1 相良博典会長と飯田美香さん
2 左から相良博典会長、飯田美香さん、推薦者 逸藤貴美先生

リカレントカレッジ事務局

令和7年度 昭和医科大学リカレントカレッジ 秋期プログラム受講生募集中

リカレントカレッジでは、令和7年度秋期プログラム受講生を募集しています。定番の講座から新規開講講座まで多彩なプログラムを取り揃えております。今回は10月までに開講する講座を紹介します。資料請求・講座申込はリカレントカレッジホームページをご覧ください。次号では11月以降に開講する講座をお知らせします。

【10月開講】 申込締切：9月20日(土)

プログラム名	講師(敬称略)
咳や肺の病気に関する温故知新 ～伝統医学・民間信仰から最新医学まで～	鈴木 慎太郎
ハリウッド式！大人から始める初めてのボイストレーニング ～楽しく歌って、心も体も元気になる！～	金丸 明日香
アンチエイジングのための山歩(さんぽ) ～紅葉と富士登山準備～	原口 省吾
アクティブラーニングで学ぶ医療現場のDX ※9/15申込締切	中村 明央
関節痛の予防・軽減のセルフケア ～正しい姿勢で身体の不調を減らそう！～	田村 将希
歴史に隠れた病気を探る	小川 良雄
見て・触れて・作って学ぶ漢方薬～漢方薬・生薬入門～ ※9/10申込締切	川添 和義
初心者のための楽しい筋トレ講座 ～正しいトレーニング法と身体のケアについて知る～	蜂須 貢
からだの仕組みと薬の秘密を知る！ 賢いOTC医薬品の選び方・使い方～総合かぜ薬編～	赤川 圭子
この事件を裁くのはあなたです	城 祐一郎
はじめての薬膳茶レッスン♪美味しく、簡単に、綺麗になろう ～和洋中の薬膳ハーブを味わい・楽しもう～	大塚 まひさ
人生がハッピーになる 大人のためのオシッコ学	小川 良雄
宇宙教育のすすめ～身近にある宇宙・天文技術の共有～	和田 直樹
「がんと言われても動揺しない社会」を考える	村井 孝子
ハリウッド式！歌うように話せる！ボイストレーニング ～声帯の筋トレで人を魅了する声を手に入れよう！～	金丸 明日香
好奇心をくすぐる！植物学者と歩く植物園	柿嶋 聡
がんで大切な家族を亡くしたあなたへ ～遺族ケアガイドラインと悲嘆のケア～ ※定員に達し次第、受付を終了いたします。	幸田 るみ子

リカレントカレッジでは2026年春の講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。

お問い合わせ 昭和医科大学リカレントカレッジ事務局

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



昭和医科大学学生会

第34回昭和医科大学学生会シンポジウム 「セカンドライフにおけるがん検診を考える」 開催

2025年度のシンポジウムを開催(公開)いたします。公開URLは昭和医科大学学生会ホームページにてご案内いたします。是非ともご視聴ください。

【会期】2025年8月23日(土)～9月24日(木)公開

【開催形式】オンデマンド配信

【コーディネーター】吉田 仁 教授

昭和医科大学大学院医学研究科 消化器内科学分野

演題	演者
1) 超高齢化社会を迎える我が国の肺がん検診 ～過去から未来へ～	昭和医科大学大学院医学研究科 呼吸器アレルギー内科学分野 准教授 楠本 壮二郎
2) セカンドライフ世代に寄り添う大腸がん検診の実践～科学的根拠と価値観をつなぐ医療へ	昭和医科大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 准教授 片桐 敦
3) 膵癌におけるがん検診	昭和医科大学大学院医学研究科 消化器内科学分野 講師 石井 優
4) 高齢者に対する乳がん検診	昭和医科大学大学院医学研究科 乳腺外科学分野 教授 林 直輝

お問い合わせ 昭和医科大学学生会

電話：03-3784-8074

メール：gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp



上條記念ミュージアム

メディカルデザイン展 8月末日、終了間近！

第6回企画展「メディカルデザイン展 ―昭和医科大学メディカルデザイン研究所の試み―」が、昭和医科大学メディカルデザイン研究所(IMD: Institute of Medical Design)主催、上條記念ミュージアム共催で開催されています。IMD主催の「医療を支えるデザイン」をテーマとしたプログラムに参加した多摩美術大学プロダクトデザイン専攻の学生作品を中心に、昨年度設立されたIMDの医療現場のQOL(Quality of Life)を高めるための試みを展示しています。

【開館】

火曜日・金曜日

13:00～15:00(予約制)

【開催期間】

2024年11月19日(火)～

2025年8月29日(金)



皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

いつも探しています！大学や病院の歴史資料

皆さまのご自宅や勤務先に、昭和医科大学の歴史に関する資料はございませんか。

資料は「上條記念ミュージアム」にて大切に保管・展示をさせていただきます。

これらの品々は「至誠一貫」の精神で歩んできた95余年に及ぶ昭和医科大学の歴史を後世に伝える貴重な資料となる可能性があります。皆さまからのご連絡をお待ちしております。

また、本年秋季に企画展「旧昭和医科大学の頃」を開催予定!! 昭和医科大学時代(昭和21～39年)にスポットをあて、設立経緯や校舎の移り変わりなどが紹介できるよう準備中です。当時の資料(卒業アルバム、ノート、写真など)をお持ちであれば併せてご一報くださいますようお願いいたします。



お問い合わせ 昭和医科大学上條記念ミュージアム

電話：03-3784-8031

メール：museum@ofc.showa-u.ac.jp



昭友商事は
皆様をあらゆる面でサポートし、
貢献いたします。

☎(03) 3784-8280

昭和医科大学オリジナル商品の販売

NLローソン・タリーズコーヒー運営

各種旅行・イベント手配業務

アウトソーシングサービス ほか

昭友商事株式会社 〒142-0064
品川区旗の台1-8-16



総務部

昭和医科大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

同窓／医療法人高仁会 理事長 高橋 太郎 様（医学部 65回生）
職員（50音順）／小口 江美子 様、中村 明央 様、中村 明弘 様
一般／荏産エンジニアリング株式会社 様、株式会社アースウィン
ド様、株式会社ジェイ・シー・ティ様、株式会社シバスタッフ 代
表取締役社長 柴橋 和弘 様、株式会社城口研究所 様、株式会社
リツメディカル 様、クオールホールディングス株式会社 様、進
和テック株式会社 様、TGCゼネラルサービス株式会社 様、東洋
リネンサプライ株式会社 様、野村証券株式会社 様、フィンガルリ
ンク株式会社 様、小林 瑞子 様

【昭和医科大学病院への寄付】

一般／アット・ファシリティラボ株式会社 様

【昭和医科大学藤が丘病院への寄付】

一般／株式会社ウイン・インターナショナル 様、小田 泰弘 様、小
田 博子 様

【昭和医科大学江東豊洲病院への寄付】

一般／泉谷 匡彦 様、水島 忠克 様

【昭和医科大学烏山病院への寄付】

一般／佐藤 容子 様

【各クラブ・学生会への寄付】

職員／稲富 誠 様

一般／医療法人社団 ユニメディコ 理事長 立野 慶 様

※収納期間：2025年4月1日～5月31日
※本学広報媒体への掲載に同意していただいた方のみといたします

チャリティーバザー物品ご寄付のお願い

第65回旗ヶ岡祭（開催日：10月11日(土)～12日(日)）企画の一環として「第33回 昭和医科大学留学生医療支援バザー」が開催されます。バザー物品は、例年保護者の皆様のご協力を中心となっております。

この売上げは経費を除いて「留学生医療基金」に横立てられ、留学生の医療費の一部負担・国際交流会などに使われております。今年も、保護者の皆様に物品ご寄付のご協力をお願い申し上げます。バザー用品のご寄付は、昭和医科大学生活協同組合が窓口として受け付けております。ご協力の程、よろしく願いいたします。

昭和医科大学第65回旗ヶ岡祭実行委員会
委員長 岡田 真歩 総務局長 福田 蛍太

※衣類、雑貨等は全て新品・未開封品あるいは新品同様の物に限定させていただきます。衣類の場合はクリーニング済のものも受け付けております。

※食品は賞味・消費期限が3ヶ月以上先のものでお願いいたします。

※物品送付による送料に関しましては、お手数ですがご自身が保護者の皆様にご負担いただきますようお願い申し上げます。

※災害等により旗ヶ岡が中止になった場合、ご寄付いただいたものはこちらで処分させていただきますので、ご了承の程お願い申し上げます。

※日時の指定ができる場合は、平日の午前中に指定いただきますようお願い申し上げます。

送付先：〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
昭和医科大学生活協同組合 バザー係

問合せ先：旗ヶ岡祭実行委員会総務局
hataasai.soumukyoku@gmail.com
昭和医科大学生活協同組合
03-3788-2322



今号の表紙写真

表紙写真は、5月28日に横浜キャンパス「横浜自然教育園」で開催された梅の実収穫祭のひとつです。約14,000㎡の広大な敷地を誇る横浜自然教育園には、八重寒紅や雲の曙など、200品種を超えるウメが植えられています。参加者は、熟し始めた青梅を一つひとつ丁寧に選びながら、カゴや袋いっぱい収めました。作業の後には、園内で手作りされた梅ジュースがふるまわれ、笑顔があふれるひとときとなりました。今後も、各キャンパスでの活動や季節の移ろいを感じられる風景を、皆さまにお届けしてまいります。



SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

昭和医科大学新聞 通巻第626号

vol. 17

August 2025 令和7年8月1日発行

[年6回発行]



学校法人 昭和医科大学

(03) 3784-8000
〒142-8555
東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 小口 勝司

編集 総務課 大学広報係
(03) 3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社

【配送停止住所変更】

のご連絡は、こちらにお願いいたします。

【各種募金・寄付について】

企画課 (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 (03) 3784-8022 (旗の台)
(0555) 22-4403 (富士吉田)
(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 (03) 3784-8793

入学支援課 (03) 3784-8026

! 個人情報の取扱いにご注意ください

昭和医科大学新聞には、学生・職員および学外関係者の氏名や所属等を掲載している場合があります。掲載に際しては、学校法人昭和医科大学が個人情報を広報活動に利用することについて説明し、同意していただいております。原則として、その他の目的に個人情報を利用することはできませんので、取扱いにはご注意ください。